

平成27年度

尼崎の教職員を支援するために

— 平成27年度事業計画 —

— 平成26年度事業報告 —

尼崎市教育委員会事務局 学校教育部

教育総合センター

目 次

平成 2 7 年度 『尼崎の教職員を支援するために』

平成 2 7 年度事業計画

1	教育総合センターの事業について	1
2	研修体系策定の方針	2
3	具体的な取り組み	4
4	研修をすすめるにあたって	6
5	研修体系図	7
6	教育総合センター研修一覧表	9
7	教職員研修計画内容	1 1
8	視聴覚センターの研修・普及事業	1 6
9	平成 2 7 年度 教育総合センター研修担当分担表	1 7
1 0	文科省・県教委等の実施する研修一覧	1 9

平成 2 6 年度事業報告

1 1	平成 2 6 年度研修報告	2 0
1 2	平成 2 6 年度教育相談担当の事業報告	2 6
1 3	平成 2 6 年度教育研究部会の概要報告	3 0
1 4	児童生徒文化充実支援事業の概要報告	3 4
1 5	平成 2 6 年度視聴覚センター事業報告	3 5
1 6	平成 2 6 年度教科書センター事業報告	3 6
1 7	平成 2 6 年度教育情報の収集・整理事業報告	3 6

資料

欠席届（様式 3・4・5）	3 7
---------------------	-----

平成27年度の尼崎市の組織改正において、児童生徒の問題行動や不登校、いじめ問題に対する取組を強化する必要があること、また、特別に支援を必要とする児童・生徒が増加しているなどの課題に対して、より専門性を高めつつ迅速に対応していくため、生徒指導・特別支援担当と教育総合センターの業務を再編し、教育・障害福祉センターの施設内に教育相談・特別支援担当が設置される。

1 教育総合センターの事業について

教育総合センターは、教職員の研修、教育の情報化の推進の2事業を担当するとともに、児童生徒文化充実支援事業を中心に市内小・中学校の各教科研究会と連携し、学力向上に繋がる実践的な取組を支援している。以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

1 運営方針

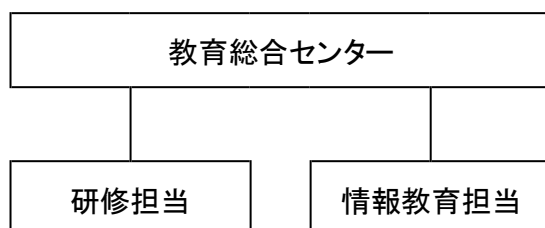
兵庫県は、教育の基本計画である「ひょうご教育創造プラン」を策定し、「こころ豊かな自立した人づくり」の基本理念に基づき「確かな学力」の確立、自立心や自律性など、道徳性をはじめとする「豊かな心」の育成、いじめ・不登校対応など子どもたちの「心」を支えるシステムの充実、教職員の資質能力の向上などを目指している。

本市においても、平成25年度から10年間を見通した『尼崎市総合計画』、教育振興基本計画において学校教育施策の展開方向が示され、学校教育に関する重点取組では「教育・学習内容の充実」「心のケア・心の教育の充実」「子どもの健康な体づくり」「安全な教育環境の確保」「家庭・地域・学校の連携推進」を掲げている。

教育総合センターでは、県や市の示した方向性に対応すべく、教職員の資質向上の取組を推進するため、研修体系や教職員の不断の研究と修養を支援する。

2 主な事業の概要

教育総合センターには研修・情報教育の2つの担当があり、それぞれが連携を図りながら事業を進めていく。



<調査研究・教材開発事業>

学校教育に関する専門的・技術的事項について、所属長の推薦を得て教員に研究員を委嘱し、センターの指導主事と協力して実践的な研究を進める。

成果は研究紀要（平成27年度末に第53号を発刊）にまとめるとともに、全国教育研究所連盟、近畿地区教育研究所連盟、兵庫県教育研究所連盟、教育総合センター研究発表会等で発表していく。また、地域の大学との連携による研究を一部取り入れていく。

<教職員研修事業>

本市の教育水準の向上を図るため、研修体系の柱として、「人材育成の強化」「他部門との連携強化」「今日的課題への対応力強化」をかね、基本研修と専門研修を計画的に実施する。また、本年度より中堅教員研修、小学校全教員対象の英語教育教科化に向けた研修、指導主

事研修においての講師招聘、就学前教育の充実を図る。

＜児童生徒文化充実支援事業＞

児童生徒の個性・能力の伸長、学習への興味・関心・意欲を高めるため、児童生徒文化発表会等の文化的活動の奨励及び小・中学校の各教科研究会の実践的な取組を支援する。

また、その取組を広く周知するとともに、活性化を促すことで教員の資質向上につなげる。

＜マイスター事業＞

教員の資質・指導力の向上を図るため、教科指導等において優れた教育実践を進める教員を表彰するとともに、優れた授業を広く公開し、実践的指導力の向上を支援する。

＜指導力パワーアップ事業＞

授業改善アドバイザーを小学校4名、中学校5名配置する。若手教員による学級づくりの課題解決及び授業内容の充実等のため、各小・中学校へ派遣し、指導・助言を行い、人材育成をスムーズに進め、若手教員の授業力・学級経営に係る指導力の向上を図る。

＜ぐんぐんのびる個別ドリルシステム活用事業＞

児童一人ひとりの進度にあった、計算や漢字の個別ドリルシステムを活用し、児童の学習意欲を促す。基礎的な学習の習得に支援が必要な児童等を中心に、繰り返し学習させながら、次のステップへ進むための個別学習を支援する。

＜学校情報通信ネットワークシステム関係事業＞

校務の情報化を推進し、校務処理の効率化で生み出した時間を、児童・生徒と関わる時間に充てる。ネットワークの活用では、学校間、教育委員会の情報共有や、学校からの情報をホームページに公開する。

＜情報教育推進事業＞

教育の情報化を推進する。児童・生徒に対し、情報活用能力の育成を図るとともに、ICTを活用した授業や、情報モラル教育の充実を図る。

＜教育情報の収集と提供事業＞

教育に関する図書、雑誌及び全国の教育センターの研究報告書、市内学校・園の研究誌等を収集するとともに、利用しやすいように整備し、貸出を行う。広報活動として「教育あまがさき」（年間2回）「教育総合センターだより」（年間4回）を発行する。

また、教職員及び市民の教科書研究のため、教科書センターを常設する。

＜視聴覚センター事業＞

市民等を対象に、16ミリ映写機操作技術講習会を実施するほか、16ミリフィルムや映写機、ビデオテープ、DVDやプロジェクタ等の貸出を行う。

2 研修体系策定の方針

1 平成27年度学校教育に関する重点取組

（1）教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる

- 1 授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する
- 2 特別支援教育充実の取組を促進し、自立や社会参加に向けた主体性を育成する

（2）心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

- 1 道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会とのかかわりづくり

に努める

- 2 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る
- 3 キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する
- (3) 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む
 - 1 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する
 - 2 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る
- (4) 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る
 - 1 安全教育の取組を促進し、登下校及び校内の安全確保を図る
 - 2 防災教育充実の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る
- (5) 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む
 - 1 教職員の資質向上の取組を促進し、学校の組織力及び教育水準の向上を図る
 - 2 地域資源活用取組を促進し、開かれた学校園づくりを図る

2 研修体系について

平成27年度学校教育に関する重点取組をふまえ、研修を大きく基本研修、専門研修と特別に実施する研修の3つに分類し実施していく。

さらには、道徳や小学校英語教育の教科化を見据えて、基本研修において研修の重点及び拡充をおこなう。

(1) 基本研修

1 職階に応じた研修

信頼される学校・園づくりに取り組むために、教職員の資質向上や学校の組織力向上に取り組むため職階に応じた研修を実施する。

2 職務に応じた研修

学校の中核となる教員の育成として、生徒指導担当者研修をはじめ、中堅教員や防災・安全教育、特別支援コーディネータ、学力向上担当など、職務に応じた研修を実施する。

3 教職年数に応じた研修

初任者研修をはじめ、教職員の資質の向上を目指し、教職経験年数に応じた研修を実施する。

初任者研修では、中核市としての利点を活かし、県の教員研修体系の再編に伴い、授業力の育成を重点化した内容を充実させる。また、尼崎の地域を活用した研修に取り組み、尼崎市に対する地域愛を育てる。さらに、1年目研修に引き続き、2年目、3年目と同グループでの研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指す。

4 研修の重点及び拡充

- (1) 7年目教員研修の内容として中堅教員（ミドルリーダー）育成をねらい、研修をおこなう。
- (2) 小学校英語教育の教科化に向けて、外国語活動研修を3ヵ年かけて小学校全教員を対象に研修をおこなう。
- (3) 就学前の教育のあり方を幼稚園や保育所、認定こども園等が共通理解し、就学前教育の研修を充実させることで小学校へのつながりのある教育を目指す。

(2) 専門研修

1 教育課題等への対応研修

校種間の連携に取り組む研修、人権教育研修、情報教育に関する研修や心の教育の充実のためのカウンセリング技法、生徒指導・不登校児童生徒支援研修、特別支援教育研修等、子ども理解のための研修など、教育課題の対応に資する研修を実施する。

2 教科等の指導力向上を目指した研修

教科等の指導力向上を目指し、児童生徒の学力向上のため、各教科において活用型の授業の研修を実施する。また、マイスター教員の公開授業講座等において、若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。

(3) 特別に実施する研修

年間計画に当初より予定している研修の他に、緊急性や必要性のある研修を学校園のニーズに応じて研修を実施する。

3 具体的な取り組み

1 教員の資質向上

教員の資質向上を目指すため、3つの「あるべき教師像」を掲げ研修に取り組む。

(1) あふれる情熱と責任感

子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教師

- ・ 校長や教頭、主幹教諭などの職務・職階に対応した研修
- ・ 不登校児童生徒支援や特別支援教育、カウンセリングなどに関する研修
- ・ 栄養教諭や養護教諭などの職責を遂行するための研修
- ・ 子ども理解のための研修
- ・ 人権問題について学ぶための研修

(2) 確かな授業力・指導力・専門性

「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教師

- ・ 授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
- ・ 教科の指導力向上をめざした研修
- ・ マイスター教員やベテラン教員の授業等において、若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実
- ・ 幼・小・中・特別支援・高等学校の教員の交流や連携を図る研修の充実
- ・ カウンセリングの技法や子ども理解のための研修の充実

(3) 総合的な人間力

総合的な人間力を高め、時代の変化や今日的な課題に対処し、柔軟に指導できる教師

- ・ 中堅教員をミドルリーダーに養成するための研修の充実
- ・ 小・中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材における小・中連携を図る研修の充実
- ・ 地域との連携を図るため、地域を知る研修の充実
- ・ 防災・安全に関する研修
- ・ 今日的課題に対応した研修

2 中核市として主体的に研修の充実を図る

中核市として、国や県の動向を考慮しながら尼崎にふさわしい研修を実施していく。

＜初任者研修（法定研修）の充実＞

授業研究を中心に、道德教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関する事など、教員として必要な基礎を身に付けることをめざす。

初任者が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地域について学習できる研修を実施する。研修場所は、教育総合センター以外に、学校や消防署、防災センターなど、尼崎の施設をできるだけ利用していく。

初任者研修の充実として、1年目研修に引き続き、2年目、3年目も同グループでの研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

＜10年経験者研修（法定研修）の充実＞

グループによる教科指導や生徒指導等の研修から、より実践力を高めるとともに、教育課題を研究することにより専門性を深める。共通研修により、尼崎の課題や展望を見つめ、中堅教員としての意識を高め、今後の教育活動に生かしていく。

＜5年次・15年次相当教員研修の変更と周知＞

5年次相当教員研修では、学級経営を含めた指導力や授業力を軸にした研修を実施していく。自分の教育活動を振り返り、若手教員のリーダーとしての自覚を促す。この度の研修の見直しにより、県の研修である5年次相当教員研修は、平成25年度採用者までが受講対象となり、少し幅をもたせた研修に変更している。

また、15年次相当教員研修では、自己点検を行う時期と捉え、自己管理、自己開発を軸とした研修を実施していく。本研修においても、平成25年度採用者までが受講対象となり、同様に少し幅をもたせた研修に変更している。

＜若手教員研修の充実＞

1年目、2年目、3年目、4年目、5年目教員を対象に授業研究や学級経営の研修を実施していく。グループによる小集団研修やマンツーマン型研修の他、異校園種交流研修を含め、小学校4名、中学校5名の授業改善アドバイザーによる訪問研修など、多様な形態で実施する。

＜中堅教員研修の充実＞

ベテラン教員の退職、若手教員の急増に伴う現状から、中堅教員の育成を目指して、7年目教員を対象にした中堅教員としての職務に係る研修の充実を図る。

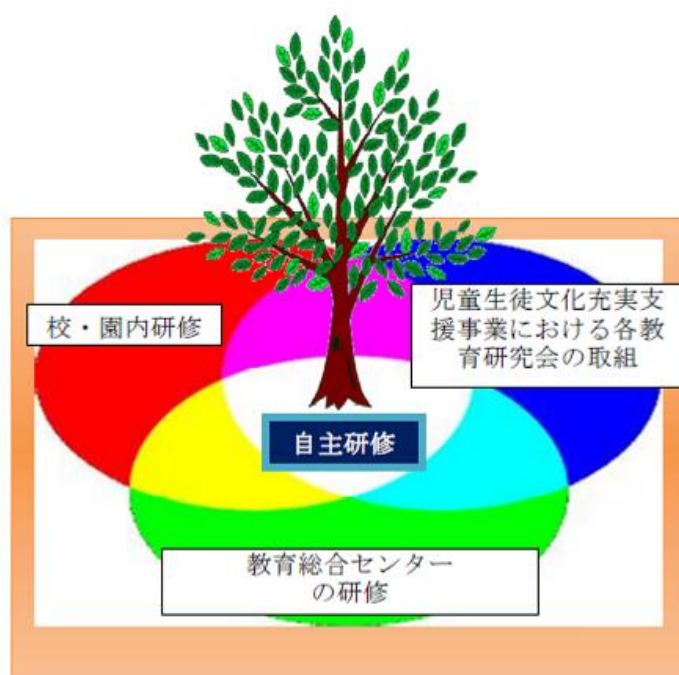
3 学校・園のニーズに応える

研修に参加した教職員へのアンケートの実施、校・園長に研修への意見・要望の聞きとり、研究会との連携、そして、校・園長の代表者と教育総合センターの研修のあり方を協議する「センター研修事業連絡協議会」（年2回）の実施など、研修へのニーズを多方面から取り入れ、研修事業に生かしていく。

4 研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、「教育総合センターの計画的に設定された研修」、その他各教育研究会が主体となって企画・運営されている児童生徒文化充実支援事業における研究等がある。

それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していく。さまざまな研修の延長線上に教員自身が進んで学び続ける「自主研修」の学びの根っこや栄養分があるといえる。



1 教育総合センターの研修と校・園内研修の連携

- (1) 授業力向上等に向けて、教育総合センターの研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り教科部会等において広めることで、多くの教員の授業力向上等をめざす。
- (2) 授業力向上には、熟練した授業を参観することによる効果は大きい。そのために本市のマイスター教員が授業を公開する(マイスター公開授業研修講座)研修を行う。このほか、授業改善アドバイザーや指導主事等が授業を参観し、授業づくりについて支援を行っていくなど、日々の授業に役立つ取組を実施していく。
- (3) 研究部会や研究会の成果を、発表会や紀要によって広く公開し、研究部員等が校内において研究成果の交流を図るなど、技能や知識の共有化を図る。
- (4) わかりやすい授業や校務の情報化を推進していくため、ICT活用などの出前研修を校内研修において実施していく。

2 教育総合センターの研修と自主研修の連携

- (1) 教員自ら行う自主研修は、資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループ、個々のニーズにあった支援を充実する。
- (2) 教育総合センターの情報コーナーにおいて、書籍等で最新の情報やこれまで公開された授業の学習指導案を提供する。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間(午後9時)まで開放する。この他、イブニングセミナー等、若手教員を中心とした自主的な研究会を支援する。

5 研修体系図（略図）

教育総合センターの研修	
基本研修（受講しなければならない研修）	
	職階に応じた研修
	職務に応じた研修
	経験年数に応じた研修
専門研修（希望による研修）	
	教育課題等への対応研修
	教科等の指導力向上を目指した研修
特別に実施する研修	
	特別臨時研修
	自主研修（イブニングセミナー、教師塾等）

平成27年度 尼崎市教職員研修体系図

あふれる情熱と責任感

確かな授業力・指導力・専門性

総合的な人間力

研修の柱

- ・人材育成の強化
- ・他部門との連携強化
- ・今日的課題への対応力強化

キャリア段階

管理職

学校経営全般にわたっての管理・指導

深化貢献発信期
(16年目～)

組織マネジメントの視点を持ちながら、学校経営において管理職を補助する時期

充・実 発・展 期

基礎形成期で身に付けた基礎を発展・充実にする時期

基礎形成期

(1～5年目)

教職員としての基礎を確立する時期

学校教育課・他部門との連携

学力向上クリエイト事業
尼崎市学習到達度調査問題作成と実施
子どもの自立支援活動事業

学力向上研修 研究部会
子ども理解のための研修

学校との連携・支援

- ・指導力パワーアップ事業
- ・経年研修 グループ研修
- ・小学校全教員対象の英語教育教科化にむけた指導力向上研修

教科研究会への支援・共同研修

児童生徒文化充実支援事業
全体教科研究会
教科研究会との連携研修

大学との連携事業および研修

- ・ICT機器の活用研究
- ・外国語活動研修
- ・特別支援教育研修
- ・幼稚園研修
- ・中学校教科研究会との連携研修
- ・小学校校内研究との連携研修
- ・授業のユニバーサルデザイン化研究部会

教育総合センター

基本研修

教職員の資質向上、学校の組織力向上につなげるための研修

専門研修

児童生徒の学力向上のため、教員の指導力向上をめざし、今日的課題を考慮した教職員の資質と専門性の向上を図るための研修

特別臨時研修

緊急性や必要性のある研修を学校・園のニーズに応じて実施する研修

県が実施している研修

- ・初任者研修(一部)
- ・管理職研修
- ・経年研修
- ・道徳教育実践研修
- ・特別支援教育研修
- ・生徒指導担当教員研究協議会
- ・人権教育研修会
- ・防災教育研修会
- ・情報教育研修会 ……等

国・文科省実施の研修

派遣研修
独立行政法人 中央研修
(英語活動等指導者養成研修)
(道徳教育指導者養成研修)
兵庫教育大学大学院派遣
大学院派遣研修
異校・園種交流研修

自主研修のための支援

教育資料の収集・貸出
教育総合センター情報資料室における教育資料の収集整理・情報提供・貸出「教育あまがさき」「教育総合センターだより」の発刊

視聴覚センター
市民等を対象に16ミリフィルムや映写機、ビデオテープ、DVD等の貸出

教育情報システム
・あまネットシステム
・教育・研修資料等の情報提供

夜間研修
・自主研修グループの活動
・イブニングセミナー、教師塾

調査研究・教材開発

センター研究部会

- ・教育相談部会
 - ・教育の情報化部会ⅠⅡ
 - ・算数教育研究部会
 - ・活用力向上部会
 - ・外国語活動研究部会
- 近畿、兵庫県、各市教育研究所連盟への発表
教育総合センター研究発表会等への発表

市民の集いの場

親と子のクールスポット

教育課題等への対応研修

教育課題研修講座

- 人権教育研修講座
- 特別支援教育研修講座
- 環境教育研修講座
- 食育研修講座
- 言語力向上研修講座

児童・生徒理解研修講座

- 子ども理解のための研修講座
A: カウンセリング
B: 生徒指導・不登校児童生徒支援
C: 特別支援
- 学級経営研修講座
- ライフスキル教育研修講座

一般教養研修講座

- 一般教養研修講座
- 学校飼育動物研修講座

教育の情報化の研修講座

- 情報教育
 - ・プレゼンテーションソフト活用研修講座
 - ・情報モラル・セキュリティ研修講座
- 教科指導における情報通信技術活用
 - ・小・中学校 ICT 活用研修講座
- 校務の情報化
 - ・校務支援システム活用研修講座
 - ・学校事務支援システム活用研修講座
 - ・学校・園ホームページ作成研修講座

教科等の指導力向上をめざした研修 (調査等を踏まえた学力向上研修)

幼児教育研修講座

- 図書館教育研修講座
- 国語科教育研修講座
- 社会科教育研修講座
- 算数科教育研修講座
- 数学科教育研修講座

理科教育研修講座

- 生活科教育研修講座
- 音楽科教育研修講座
- 図工・美術科教育研修講座
- 体育科教育研修講座

技術・家庭科教育研修講座

- 英語科教育研修講座
- 道徳教育研修講座
- 総合学習研修講座
- 特別活動研修講座
- 授業力向上研修講座

教科等研究会との連携による講座の開設

マイスター教員による

公開授業研修講座

マイスター教員等の活用

※ ……国や県が定める研修

★ ……新規拡充による重点化した研修

6 教育総合センター研修一覧表

種別	中分類	新再設編 ◎ ☆	平成27年度 研修・研修講座名		獲得を目指す資質				内容・領域	対 象	対象校種
					情 感・意 志・態度	人 間 性	専 門 性	対 応 力			
受講しなければならない研修（基本研修）	職に就いたに研修		校・園長研修	第1回	○			○	学校経営課題研修（防災に関することなど危機管理研修）	校・園長	全校種
				第2回							
			新任校・園長研修	第1回	○			○	校・園長の職務	新任校・園長	全校種
				第2回	○		○		人権感覚を高める（ハラスメント研修）		
			教頭研修		○			○	学校経営課題（教員の育成 OJT）	教頭	全校種
			新任教頭研修	1	○			○	実務に関する対応研修1	新任教頭	全校種
	職務に応じた研修			2	○			○	実務に関する対応研修2		
			新任管理職コンピュータ研修					○	ネットワークを利用した校務処理	新任校長・教頭	全校種
			主幹教諭研修		○		○		主幹教諭に求められる資質とその職務	小・中・特の主幹教諭	小・中・特
			教務担当・主任研修		○			○	教務担当・教務主任としての職務	小・中・特の教務担当	小・中・特
			研究担当・主任研修		○		○		校内研究をすすめる	小・中・特の研究担当	小・中・特
			生徒指導担当研修				○	○	「子ども理解のための研修講座」から1つ選択	小・中・特の生徒指導担当	小・中・特
		◎	就学前教育研修	第1回			○	○	就学前教育について	就学前教育、園児指導教員	幼稚園 保育園 保育所
							○	○	就学前教育について		
				第2回			○	○	就学前教育について具体例をおして学ぶ		
							○	○	就学前教育について具体例をおして学ぶ		
		◎	教科化に向けての外国語活動研修Ⅰ	1		○	○		全体研修（視聴覚室）	小学校全教員	小・特
				2		○	○		全体研修（視聴覚室）		小・特
		◎	教科化に向けての外国語活動研修Ⅱ	1		○	○		実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）	外国語活動を指導・担当していない教員全員	小・特
				2		○	○		実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）		小・特
				3		○	○		実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）		小・特
				4		○	○		実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）		小・特
				5		○	○		実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）		小・特
			拠点校指導教員研修		○		○		拠点校指導教員の職務（実践交流）	拠点校指導教員	小・中・特
			養護教諭研修				○		養護教諭研修	養護教諭	全校種
			栄養教諭研修				○		栄養教諭研修	栄養教諭・学校栄養職員	全校種
			防災・安全教育研修				○	○	防災・安全教育について	防災・安全教育担当	全校種
			特別支援教育コーディネーター研修				○	○	特別支援教育について（実践交流）	特別支援教育コーディネーター	全校種
			学力向上担当者研修			○			評価に関する研修	学力向上担当者	全校種
			教育用コンピュータシステム管理担当研修				○		教育用コンピュータシステムの管理と運用	担当教員	小・中・高・特
	教職年数に応じた研修	☆	1年目教員必修研修（22日）	第1回	○		○		尼崎の教育、接遇について、小中連携グループ研修①	1年目教員必修研修対象者	小・中・特
				第2回	○			○	指導案作成の基礎、国語科、教科指導		
				第3回	○			○	特別活動・学級経営、授業実践研修		
				第4回		○	○		安全教育・救急救命法		
				第5回	○		○	○	授業設計、社会科、教科指導		
				第6回			○		教育相談、授業実践研修		
				第7回	○		○		情報教育、ICTの活用		
				第8回		○			学習意欲、算数科、教科指導		
				第9回			○		授業のユニバーサルデザイン化、尼崎養護学校の授業参観		
				第10回			○	○	環境学習、職場体験フォーラム、小中連携グループ研修②		
				第11回			○		生徒指導・問題行動への対応		
				第12回	○		○		道徳教育（講話、指導案作成、模擬授業等）		
				第13回	○		○		学習評価、理科、教科指導		
				第14回	○		○		他業種に学ぶ、小中連携グループ研修③		
		☆	2年次教員研修	共通研修		○			課題設定	2年目教員	小・中・特
				個人		○			マンツーマン研修		
				グループ		○			授業研究		
				グループ		○			公開授業の実施		
		☆	3年次教員研修	選択研修		○			教科の指導力向上を目指した研修から1つ選択	3年目教員	小・中・特
				共通研修		○			課題設定		
				グループ		○			授業研究		
				グループ		○			公開授業の実施		
		☆	4年目教員研修	選択研修		○			教科の指導力向上を目指した研修から1つ選択	4年目教員	幼・小・中・特
				個人		○			異なる校・園種との連携（TTIによる授業及び実践等）		
				選択研修		○					
				選択研修		○			希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択		
		☆	5年次相当教員研修	共通研修	○		○		中堅教員としての職務 一講義にて組織としての役割を考える一	7年目教員	小・中・特
				共通研修	○		○		中堅教員としての役割 一小集団にて現任校での役割を考える一		
			10年経験者研修	共通研修			○		共通研修（尼崎の今日的課題に取り組む）	10年経験者教員（11年目教員）	小・中・特
				選択研修		○	○		希望による研修講座から1つ選択		
		☆	15年次相当教員研修	選択研修			○		希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択	15年目教員と希望対象者	全校種
				選択研修			○				
			20年目教員研修	選択研修			○		希望による研修講座（専門研修）から選択	20年目教員	幼・小・中・特
				選択研修			○		希望による研修講座（専門研修）から選択		
		☆	常勤の臨時講師研修	共通研修	○		○		教員として必要な知識や自覚、服務、授業力・指導力の向上研修	2年目までの常勤の臨時講師・助教諭及び校・園長が認めた者	幼・小・中・特
				選択研修	○	○			希望による研修（専門研修）から1つ選択		
			管外転入教員研修		○		○		本市の課題とこれまでの取り組み	管外転入教員	幼・小・中・特

種別	中分類	新再設編◎☆	平成27年度 研修・研修講座名	獲得を目指す資質				内容・領域	対 象	対象校種					
				情 感 熱 心 性	授 業 力	専 門 性	対 応 力								
希望による研修（専門研修）	今日的課題に対応した研修		人権教育研修講座	(1)			○	○	尼崎市における多文化共生について考える（ヘイトスピーチについて）	全教職員	全校種				
				(2)			○	○	これからの人権教育（原発・放射能など広範囲に及ぶ人権）						
				(3)			○	○	これからの人権教育がめざすもの						
			一般教養研修講座					○		民間で活躍する人に学ぶ	全教職員	全校種			
			言語力向上研修講座					○		言語感覚を磨く授業について	全教員	全校種			
			学校飼育動物研修講座					○		小動物の取り扱いについての留意点	全教職員	幼・小・特			
			情報モラル・セキュリティ入門研修講座	(1)			○		モラル・セキュリティ入門 ＊2回のうちの1つを受講する	全教職員	全校種				
				(2)			○								
			CMSを活用した学校ホームページ作成研修講座	(1)			○		学校・園のホームページ作成研修講座 ＊2回のうちの1つを受講すること	全教職員	全校種				
				(2)			○								
			学校事務支援システム活用研修講座					○	○	学校事務支援システムの活用	事務職員	全校種			
		◎	校務支援システム入門研修講座	小学校編			○		各種名簿作成、日々の様子、生徒指導等	全教員	小・特 中・特				
				中学校編			○								
			校務支援システム活用研修講座		小学校編			○	成績処理、通知表作成、要録作成等	全教員	小・特				
					中学校編			○	成績処理、通知表作成、面談資料、調査書等	全教員	中・特				
			小学校ICT活用研修講座		(1)			○	○	コンピュータ室の機器及びソフトウェアの活用	全教員	小・特 中・特			
			中学校ICT活用研修講座		(2)			○	○						
			食育研修講座						○	子どもが育つ環境と食育について	全教職員	全校種			
			環境教育研修講座						○	環境教育について	全教職員	全校種			
			学級経営研修講座				○		○	学級経営の基本を学ぶ	全教員	全校種			
		☆	子ども理解のための研修講座	(1)				○	○	生徒指導・不登校児童生徒支援の研修（不登校、NO体罰）	全教職員	全校種			
				(2)				○	○	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応					
				(3)				○	○	カウンセリング研修					
			ライフスキル教育研修講座		1日目 2日目				○	学級の集団づくりの考え方、よりよい生き方教育についての研修 （2日間連続受講のこと）	全教員	全校種			
	教科等の指導力向上を目指した研修			道徳教育研修講座	(1)			○	○	（小学校教員向け）魅力ある学級づくりと道徳実践	全教員	全校種			
					(2)			○	○	（中学校教員向け）道徳授業実践研究					
				国語科教育研修講座	(1)				○	（小学校教員向け）言語活動の充実に向けた授業について	全教員	全校種			
					(2)				○	（中学校教員向け）言語活動の充実に向けた授業について					
				社会科教育研修講座	(1)				○	（小学校教員向け）情報社会に求められる社会科授業づくり	全教員	全校種			
					(2)				○	○			（中学校教員向け）PISA型読解力向上に向けた実践		
			◎	授業力向上研修講座（国語編）		全4回			○	○	授業力・指導力の向上にむけた実践研修	全教員	小・特		
			◎	授業力向上研修講座（算数編）		全4回			○	○	授業力・指導力の向上にむけた実践研修	全教員	小・特		
				図書館教育研修講座						○	○	学校における多様な読書活動の展開	全教員	全校種	
				算数科教育研修講座						○		（小学校教員向け）活用する力を育む指導のポイント	全教員	全校種	
				数学科教育研修講座						○		（中学校教員向け）活用する力を育む指導のポイント	全教員	全校種	
				英語科教育研修講座						○		（中学校教員向け）小・中・高つながりのある英語教育	全教員	全校種	
				理科教育研修講座	(1)				○		（小学校教員向け）おもしろ実験・観察	全教員	全校種		
					(2)				○		（中学校教員向け）実験や観察で気をつけたいこと				
				生活科教育研修講座						○		（小学校教員向け）生活科授業デザインの方法とその実際	全教員	全校種	
				幼児教育研修講座	(1)				○		（造形に関すること）色・形・手触りを楽しむ	全教員	全校種		
					(2)			○		○	（幼小連携に関すること）魅力ある園をつくる一幼・小連携への提案一				
					(3)				○		（音楽に関すること）音を楽しむ				
				音楽科教育研修講座						○		表現と鑑賞の指導について	全教員	全校種	
				図工・美術科教育研修講座						○		評価で気をつけておきたいこと	全教員	全校種	
				体育科教育研修講座	(1)				○		（小学校教員向け）基本の動きを身につけさせる指導	全教員	全校種		
					(2)				○		（中学校教員向け）武道等の指導のポイント				
				総合的学習研修講座						○		環境教育をテーマにした授業づくり	全教員	全校種	
				特別活動研修講座						○	○	特別活動の指導のあり方	全教員	全校種	
				技術教育研修講座						○		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種	
				家庭科教育研修講座						○		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種	
						マイスター教員による公開授業研修講座 （小学校教諭による授業） （中学校教諭による授業）	(1)				○	マイスター1	全教員	全校種	
							(2)				○				マイスター2
							(3)				○				マイスター3
							(4)				○				マイスター4
							(5)				○				マイスター5
							(6)				○				マイスター6
	(7)								○		マイスター7				
	(8)								○		マイスター8				
	(9)								○		マイスター9				
	(10)								○		マイスター10				
	(11)								○		マイスター11				
	(12)								○		マイスター12				
	(13)								○		マイスター13				
	(14)								○		マイスター14				
		教育総合センター研究発表会						○	○	教育総合センター研究部会の発表会	全教員	全校種			
	特別に実施する研修	臨時研修		特別臨時研修						課題に対応した研修（1）					
											課題に対応した研修（2）				
											課題に対応した研修（3）				
											課題に対応した研修（4）				

7 教職員研修計画内容

※研修内容は予定です。(実施時期で、夏季は夏季休業中)

1 受講しなければならない研修(基本研修)

(1) 職階に応じた研修(職階別研修)

研修・講座名		実施時期	目的	内容	対象	備考
校・園長研修	第1回	5/1	管理職として、広い視野と洞察力の上に立って今後の学校経営の在り方を考える。	学校経営課題(リスクマネジメント)	校長 園長	講話
	第2回	8/31				パネル
新任校・園長研修		4/28	管理職としての職務(学校経営、管理運営、職員育成)について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	校・園長の職務、人権感覚を高める(ハラスメント)研修	新任校長 新任園長	講話及び演習
教頭研修		8/4	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題(教員の育成OJT)	教頭	講話
新任教頭研修		4/6 4/14	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	実務に関する対応研修	新任教頭	講話及び演習
新任管理職コンピュータ研修		4/10 4/13	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養うとともに、尼崎市学校情報通信ネットワークシステムの有効利用を図る。	ネットワークを利用した校務処理	新任校長 新任教頭	演習

(2) 職務に応じた研修(職務別研修)

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
主幹教諭研修		未定	主幹教諭の職務に対する理解を深め、学校全体をコーディネートする力やリーダーシップの向上を図る。	主幹教諭に求められる資質とその職務	小・中・特の主幹教諭	講話
研究担当者研修		5/1 未定	校内研究の効果的な進め方について学ぶ。	校内研究をすすめるために	小・中・特の研究主任	
生徒指導担当者研修		夏季	生徒指導上の課題について、組織的に対応する力の向上を図る。	「子ども理解のための研修講座」から1つ選択	小・中・特の生徒指導担当	
教務担当研修		7/下旬	教務担当者の職務と職責を学ぶ。	教務担当としての職務	小・中・特の教務担当	
就学前教育研修	第1回	6/下旬	小学校就学前の教育について知り、指導力を高める。	就学前の教育について	全教員	
	第2回	9/下旬	就学前教育の具体的な内容について理解を深め、指導力の向上を図る。	就学前教育について具体例をとおして学ぶ		
教科化に向けての外国語活動研修Ⅰ	1	7月	小学校外国語活動の基本理念を知り、研修計画立案等に役立てる。	全体研修	全教員	講話及び演習
	2	7月				
教科化に向けての外国語活動研修Ⅱ	1	7/下旬	外国語活動を担当したことがない教員の指導力の充実を図る。	グループに分かれての実施体験研修	外国語活動を担当したことがない教員	
	2					
	3					
	4					
	5					
拠点校指導教員研修		7/3	初任者の授業力向上を図るための指導力を身につける。	拠点校指導教員の職務	担当教員	
養護教諭研修		夏季	学校保健の中核的役割としての職務を理解し、現代的な健康課題への対応力を高める。	養護教諭の課題解決にむけた研修	養護教諭	講話
栄養教諭研修		夏季	食物アレルギー事故防止の知識を習得し、緊急時の対応など、校内の体制について学ぶ。	課題解決にむけた研修	栄養教諭 学校栄養職員	
防災・安全教育研修		8/3	防災・安全教育についての理解を深め、安全教育担当教員としての指導力の充実を図る。	防災・安全教育について	安全教育担当教員 (全校種)	
特別支援教育コーディネーター研修		夏季	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	特別支援教育コーディネーターの役割について（重度含む）	特別支援教育コーディネーター	

研修・講座名	実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
学力向上担当研修	夏季	調査問題の結果をもとに指導方法の改善を図る。	全国学力学習状況調査問題からわかること	学力向上担当者	講話
教育用コンピュータ管理担当研修	4/27	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	小・中・高・特別支援学校の教育用コンピュータ管理担当教員	講話及び演習

(3) 経験年数に応じた研修 (経験年数別研修)

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
1 年目教員必修研修	第 1 回	4/21	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育、接遇、 小中連携グループ研修①	幼・小・中・高・特別支援学校の初任者研修対象者	講話 及び 演習
	第 2 回	5/12		指導案作成の基礎、 国語科(小)、教科指導(中)	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	
	第 3 回	5/26 6/2 6/9		特別活動・学級経営、 授業実践研修		
	第 4 回	6/16 6/23 6/30		救急救命法、体験研修 情報教育・情報モラル・校務支援	幼・小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	
	第 5 回	7/7		授業設計、 社会科(小)、教科指導(中)	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	
	第 6 回	7/21 7/28		教育相談スキル、授業実践研修		
	第 7 回	9/8 9/29		情報教育研修、I C T の活用		
	第 8 回	9/15 10/13 10/27		学習意欲、算数科(小)、教科指導(中)		
	第 9 回	10/6		授業のユニバーサルデザイン化、 尼崎養護学校の授業参観		
	第 10 回	11/10 11/17 12/1		環境学習、職場体験フォーラム、 小中連携グループ研修②		
	第 11 回	11/24		生徒指導・問題行動への対応		
	第 12 回	1/19		道徳教育（講話、指導案作成、模擬授業等）		
	第 13 回	2/2		学習評価、理科(小)、教科指導(中)		
	第 14 回	2/9		他業種に学ぶ、グループ研修③（まとめ）		
2 年次教員研修		5月～ 2月	各教科の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の授業力を高める。	授業力向上研修 （少人数グループ編成等）	小・中・特別支援学校の2年目教員	講話 及び 演習
			各教科の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	グループで教科等の研修講座を1つ選択して受講する		
			個別の指導により、個人の課題に応じて確かな授業力を身につける。	マンツーマン・グループ研修		授業
3 年次教員研修		5月～ 2月	各教科の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	指導力向上研修 （少人数グループ編成等）	小・中・特別支援学校の3年目教員	講話 及び 演習
			各教科の教育理論と実践の統合を図り、創造的な教育活動の指導力を高める。	グループ研修		

研修・講座名	実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
4 年目教員研修	7月～2月	異なる校・園種の子どもや教職員との連携を図ることにより、他校・園種の教育活動を学ぶ。	異なる校・園種との連携（TTによる授業及び実践等）	幼・小・中・高・特別支援学校の4年目教員	授業
5 年次相当教員研修	通年	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の5年目教員（養護及び栄養教諭含）及び希望対象者	講話及び演習
7 年目教員研修 （ミドルリーダー研修）	5月～7月	多くの対象教員が、採用後2校目を経験するにあたり、中堅教員としての意識の確立や職務について学ぶ。	中堅教員としての職務（組織としての役割等）	小・中・特別支援学校の7年目教員	
	7月～2月	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	中堅教員としての役割を考える		
1 0 年経験者研修	5/8	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	尼崎の今日的課題に取り組む	小・中・特別支援学校の10年経験者（11年目）	
	7月～2月	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	任意の研修を選択		
1 5 年次相当教員研修	通年	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の15年目教員（養護及び栄養教諭含）及び希望対象者	
2 0 年目教員研修	通年	これからの教育課題を理解し、中堅教員として教育の理論と広い視野を身につける。	任意の研修を2つ選択	小・中・特別支援学校の20年目教員（養護及び栄養教諭含）	
常勤の臨時講師研修	未定	職務を遂行する上で必要な知識や教員としての資質を身につける。	教員として必要な知識や自覚、服務	2年目までの常勤の臨時講師・助教諭及び校・園長が認めた者	講話
管外転入教員研修	5/7	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	管外転入教員	

2 希望による研修（専門研修）

（1）教育課題等への対応研修

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
人権教育研修講座	(1)	8/5	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	これからの人権教育のめざすもの	全教職員	講話 及び 演習
	(2)	8/25				
	(3)	8/28				
一般教養研修講座		夏季	社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	民間で活躍する人に学ぶ		
言語力向上研修講座			言語力と言語感覚を磨くための授業を学び、指導力の向上を図る。	言語感覚を磨く授業について		
学校飼育動物研修講座		未定	学校内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	小動物の取り扱いについての留意点		
情報モラル・セキュリティ入門研修講座	(1)	夏季	情報モラル指導及び情報漏洩対策のための基本的な知識技能を修得する。	スマートフォン・SNS等の適切な利用について（＊2回のうち、1つを受講すること）		
	(2)					
CMSを活用した学校ホームページ作成研修講座	(1)		学校園のホームページに特化して、適切な情報発信を考える。	学校・園のホームページ作成研修講座（＊2回のうち、1つを受講すること）		
	(2)					

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
学校事務支援システム活用 研修講座		1/下 旬	学校事務処理支援システムの活 用方法を習得し、効率的かつ円 滑な業務の遂行を図る。	学校事務支援システムの活用	事務職員	講話 及び 演習
校務支援システム入門 研修講座	小学校編	夏季	校務支援システムの活用方法の 基礎を習得し、効率的に業務の 遂行を図る。	スズキ校務による名簿作成・日々 の様子等について	全教職員	
	中学校編					
校務支援システム活用 研修講座	小学校編		校務支援システムの活用方法を 習得し、効率的かつ円滑な業務 の遂行を図る。	スズキ校務による成績処理、通知 表作成、要録作成等について		
	中学校編			スズキ校務による成績処理、通知 表作成、面談資料等について		
小学校 I C T 活用 研修講座	(1)		授業において I C T を効果的に 活用する方法について研修し、 指導力向上を図る。	コンピュータ室の機器及びソフト ウェアを活用した授業について		
中学校 I C T 活用 研修講座	(2)					
食育研修講座			子ども達の生きる力の基礎となる 「食育」の積極的な推進を図る。	子どもが育つ環境と食育について		
環境教育研修講座			環境モデル都市として、学校教育に おける取り組み方等について学ぶ。	環境教育について		
学級経営研修講座			子どもたちの学校生活の基本となる 学級について、経営に関する基本 的な事項を確認し、指導力の向上 を図る。	学級経営の基本を学ぶ ～学級集団づくりについて～		
子ども理解のための 研修講座	(1)		児童生徒の問題行動や不登校の児童 生徒の実態を把握し、支援の在り方 について、理解を深める。	生徒指導、不登校児童生徒支援に ついて		
	(2)		教育的支援を要する子どもたちの教 育における理論と実践について、理 解を深める。	特別な支援を必要とする子どもの 理解及び対応実践事例を通した子 ども理解		
	(3)		児童生徒への理解を深め、教職員の カウンセリングマインドの向上を図 る。	カウンセリングの基本的な演習		
ライフスキル教育 研修講座	1 日目	8/13	児童生徒が日常体験する困難を 上手にのりこえるために必要な 考え方やその指導方法を体系的 に学ぶ。	学級の集団づくりの考え方、より よい生き方教育についての基本的 な理論と実践（＊2 日間連続で受 講すること）		
	2 日目	8/14				

（２）教科等の指導力向上を目指した研修

研修・講座名		実施時期	目 的	内 容	対 象	備考
道徳教育研修講座	(1)	夏季	児童生徒の心情を大切にする授業の在り方について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 魅力ある学級づくりと道徳授業実践	全教職員	講話 及び 演習
	(2)			(中学校教員向け) 魅力ある道徳授業実践		
国語科教育研修講座	(1)		国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 言語活動の充実にむけた授業について		
	(2)			(中学校教員向け) 言語活動の充実にむけた授業について		
社会科教育研修講座	(1)		社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 情報社会に求められる社会科授業づくり		
	(2)			(中学校教員向け) P I S A 型読解力向上に向けた実践		
授業力向上研修講座（国語編）	全 4 回	5/25 8/27 未定 未定	国語と算数に関する理解を深め、指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	(小学校教員向け) 授業力・指導力向上に向けた実践研修（4 回シリーズ）		
授業力向上研修講座（算数編）	全 4 回	5/22 8/25 未定 未定				
図書館教育研修講座		夏季	子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開		

研修・講座名		実施 時期	目 的	内 容	対 象	備考
算数科教育研修講座		7/28	新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 活用する力を育む指導のポイント	全教職員	授業 及び 講話
数学科教育研修講座		5/14	数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(中学校教員向け) 活用する力を育む指導のポイント		
英語科教育研修講座		夏季	英語科指導に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し指導力の向上を図る。	4技能を総合的に育成する指導と評価について		
理科教育研修講座	(1)		理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) おもしろ実験・観察で育む		
	(2)			(中学校教員向け) 実験や観察で気をつけたいこと		
生活科教育研修講座		8/4	実践例を通して学習活動の場づくりについて理解を深め、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 生活科授業デザインの方法とその実際について		
幼児教育研修講座	(1)	夏季	幼児教育についての理解を深め、保育実践における指導の充実を図る。	色・形・手触りを楽しむ		
	(2)			魅力ある園をつくる一幼・小連携への提案ー		
	(3)			音を楽しむ		
音楽科教育研修講座			表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		
図工・美術科教育研修講座			図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動について研修し、指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		
体育科教育研修講座	(1)		体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、指導力の向上を図る。	(小学校教員向け) 基本の動きを身につけさせる指導		
	(2)			(中学校教員向け) 武道等、体育指導で気をつけておきたいこと		
総合的学習研修講座			「総合的な学習の時間」のねらいを踏まえ、学校の実態に応じた学習活動について理解を深め、指導力の向上を図る。	地域をテーマにした授業づくり		
特別活動研修講座			特別活動の指導内容と方法について研修し、指導力向上を図る。	特別活動の指導のあり方		
技術科教育研修講座			技術科の授業実践を図る技術を取得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		
家庭科教育研修講座			家庭科の授業実践を図る技術を取得する。	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善		
マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教諭による授業) (中学校教諭による授業)	(1) ～ (14)	6月～ 2月	見本となる授業とその研究協議を通して、個々の授業力や指導力を高める。	マイスター教員による公開授業研修講座		
教育研究発表会		2/15	研究成果を発表し、学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	教育総合センター研究発表会		

8 視聴覚センターの研修・普及事業

研修事業

◇ 16ミリ映写機操作技術講習

目 的	16ミリ映写機の基礎知識及び操作技術の習得を図る。
対 象	18歳以上の市内在住・在学及び在勤者
回 数	2回 平成26年7月下旬・10月中旬
内 容	講話「16ミリフィルムと映写機」 映画「16ミリ映写機の原理と構造」 実技「16ミリ映写機の操作」

◇ 視聴覚室等機器操作講習会

目 的	視聴覚機器(教育総合センター視聴覚室)の操作技術の習得を図る。
対 象	視聴覚センター利用希望者
回 数	随 時
内 容	講話と演習「視聴覚機器の操作法」 音声ーマイク、カセットレコーダー 映像ービデオカメラ、ビデオプロジェクター等

9 教育総合センター研修担当分担表

種別	中分類	平成27年度 研修・研修講座名	内容・領域	担当者							
				桑野	田中	西田	相方	井上	土高	見玉	東江
受講しなければならない研修（基本研修）	職に階たに研 応修	校・園長研修	学校経営課題研修（防災に関する危機管理研修）		○						
		新任校・園長研修	校・園長の職務 人権感覚を高める（ハラスメント研修）・・・教育長				○				
		教頭研修	学校経営課題（教員の育成 OJT）				○				
		新任教頭研修	実務に関する対応研修			○					
		新任管理職コンピュータ研修	ネットワークを利用した校務処理							○	○
		主幹教諭研修	主幹教諭に求められる資質とその職務		○						
		研究担当者研修	校内研究をすすめる（小・中・特支）					○			
		生徒指導担当者研修	「子ども理解のための研修講座」から1つ選択					○			
		教務担当者研修	教務担当・教務主任としての職務（小・中・特支）				○				
		就学前教育研修	第1回 就学前の教育について（午後）	○							
			就学前の教育について（夜間）					○			
			第2回 就学前教育について具体例をとおして学ぶ（午後）	○							
			就学前教育について具体例をとおして学ぶ（夜間）					○			
	職務に 応じた 研修	教科化に向けての外国語活動研修Ⅰ	1 全体研修（視聴覚室）				○				
			2 全体研修（視聴覚室）	○							
		教科化に向けての外国語活動研修Ⅱ	1 実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）					○			
			2 実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）		○						
			3 実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）			○					
			4 実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）					○			
			5 実施体験研修（1研修室、2研修室、音楽室）	○							
		拠点校指導教員研修	拠点校指導教員の職務（実践交流）		○						
		養護教諭研修	養護教諭研修		○						
		栄養教諭研修	栄養教諭研修			○					
		防災・安全教育研修	防災・安全教育について		○						
		特別支援教育コーディネーター研修	特別支援教育について（実践交流）					○			
		学力向上担当者研修	評価に関する研修			○					
		教育用コンピュータ管理担当研修	教育用コンピュータシステムの管理と運用						○	○	○
	教職年数に 応じた 研修	1年目教員必修研修（22日）	第1回 尼崎の教育、接遇について、小中連携グループ研修①	○	○	○	○	○	○	○	○
			第2回 指導案作成の基礎、国語科、教科指導		○						
			第3回 特別活動・学級経営、授業実践研修	○	○	○	○	○	○	○	○
			第4回 安全教育 救急救命法		○						
			第5回 授業設計、社会科、教科指導			○					
			第6回 教育相談、授業実践研修	○	○	○	○	○	○	○	○
			第7回 情報教育、ICTの活用							○	○
			第8回 学習意欲、算数科、教科指導		○						
			第9回 授業のユニバーサルデザイン化、尼崎養護学校の授業参観			○					
			第10回 環境学習、職場体験フォーラム、小中連携グループ研修②	○	○	○	○	○	○	○	○
			第11回 生徒指導・問題行動への対応		○	○					
			第12回 道徳教育（講話、指導案作成、模擬授業等）		○	○	○	○	○		
			第13回 学習評価、理科、教科指導		○	○					
			第14回 他業種に学ぶ、小中連携グループ研修③	○	○	○	○	○	○	○	○
		2年次教員研修	共通研修 課題設定								
			個人 マンツーマン研修								
			グループ 授業研究	○	○	○	○	○	○	○	○
			グループ 公開授業の実施								
		3年次教員研修	選択研修 教科の指導力向上を目指した研修から1つ選択								
			共通研修 課題設定								
			グループ 授業研究	○	○	○	○	○	○	○	○
			グループ 公開授業の実施								
			選択研修 教科の指導力向上を目指した研修から1つ選択								
		4年目教員研修	個人 異なる校・園種との連携（TTIによる授業及び実践等）		○		○				
		5年次相当教員研修	選択研修			○	○				
			選択研修 希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択			○	○				
		7年目教員研修（ミドルリーダー研修）	共通研修 中堅教員としての職務 一講義にて組織としての役割を考えるー			○					
			共通研修 中堅教員としての役割 一小集団にて現任校での役割を考えるー								
		10年経験者研修	共通研修 共通研修（尼崎の今日の課題に取り組む）					○			
			選択研修 希望による研修講座から1つ選択								
		15年次相当教員研修	選択研修				○				
			選択研修 希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択								
		20年目教員研修	選択研修 希望による研修講座（専門研修）から選択					○			
			選択研修 希望による研修講座（専門研修）から選択								
		常勤の臨時講師研修	共通研修 教員として必要な知識や自覚、服務、授業力・指導力の向上研修		○						
			選択研修 希望による研修（専門研修）から1つ選択								
		管外転入教員研修	本市の課題とこれまでの取り組み					○			

種別	中分類	平成27年度 研修・研修講座名	内容・領域	担当者									
				桑野	田中	西田	相方	井上	土高	見玉	東江		
今日の課題に対応した研修	人権教育研修講座	(1)	尼崎市における多文化共生について考える(ハイトスピーチについて)		○								
		(2)	これからの人権教育(原発・放射能など広範囲に及ぶ人権)		○	○							
		(3)	これからの人権教育がめざすもの		○			○					
		一般教養研修講座		民間で活躍する人に学ぶ				○					
		言語力向上研修講座		言語感覚を磨く授業について						○			
		学校飼育動物研修講座		小動物の取り扱いについての留意点				○					
		情報モラル・セキュリティ入門研修講座	(1)	モラル・セキュリティ入門								○	
			(2)	* 2回のうちの1つを受講する									○
		CMSを活用した学校ホームページ作成研修講座	(1)	学校・園のホームページ作成									○
			(2)	* 2回のうちの1つを受講する									○
		学校事務支援システム活用研修講座		学校事務支援システムの活用								○	
		校務支援システム入門研修講座	小学校編	各種名簿作成、日々の様子、生徒指導等								○	○
			中学校編									○	○
		校務支援システム活用研修講座	小学校編	成績処理、通知表作成、要録作成等								○	○
			中学校編	成績処理、通知表作成、面談資料、調査書等								○	○
		小学校ICT活用研修講座	(1)	コンピュータ室の機器及びソフトウェアの活用								○	○
		中学校ICT活用研修講座	(2)									○	○
		食育研修講座		子どもが育つ環境と食育について				○					
	環境教育研修講座		環境教育について						○				
	学級経営研修講座		学級経営の基本を学ぶ					○					
	子ども理解のための研修講座	(1)	生徒指導・不登校児童生徒支援の研修(不登校、NO体罰)						○				
		(2)	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応						○				
		(3)	カウンセリング研修			○							
	ライフスキル教育研修講座	1日目	学級の集団づくりの考え方、よりよい生き方教育についての研修 (2日間連続受講のこと)			○							
		2日目											
	希望による研修(専門研修)	道徳教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)魅力ある学級づくりと道徳実践		○							
			(2)	(中学校教員向け)道徳授業実践研究		○							
			国語科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)言語活動の充実に向けた授業について				○				
				(2)	(中学校教員向け)言語活動の充実に向けた授業について					○			
			社会科教育研修講座	(1)	(小学校教員向け)情報社会に求められる社会科授業づくり			○					
				(2)	(中学校教員向け)PISA型読解力向上に向けた実践			○					
			授業力向上研修講座(国語編)	全4回	授業力・指導力の向上にむけた実践研修				○				
			授業力向上研修講座(算数編)	全4回	授業力・指導力の向上にむけた実践研修				○				
図書館教育研修講座				学校における多様な読書活動の展開					○				
算数科教育研修講座				(小学校教員向け)活用する力を育む指導のポイント				○					
数学科教育研修講座				(中学校教員向け)活用する力を育む指導のポイント				○					
英語科教育研修講座				(中学校教員向け)小・中・高つながりのある英語教育			○						
理科教育研修講座			(1)	(小学校教員向け)おもしろ実験・観察			○						
			(2)	(中学校教員向け)実験や観察で気をつけたいこと			○						
生活科教育研修講座			(小学校教員向け)生活科授業デザインの方法とその実際					○					
幼児教育研修講座			(1)	(造形に関すること)色・形・手触りを楽しむ					○				
			(2)	(幼小連携に関すること)魅力ある園をつくるー幼小・小連携への提案ー					○				
			(3)	(音楽に関すること)音を楽しむ					○				
音楽科教育研修講座		表現と鑑賞の指導について			○								
図工・美術科教育研修講座		評価で気をつけておきたいこと					○						
体育科教育研修講座		(1)	(小学校教員向け)基本の動きを身につけさせる指導						○				
		(2)	(中学校教員向け)武道等の指導のポイント						○				
総合的学習研修講座		環境教育をテーマにした授業づくり					○						
特別活動研修講座		特別活動の指導のあり方			○								
技術教育研修講座		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善			○								
家庭科教育研修講座		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善					○						
マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教諭による授業) (中学校教諭による授業)		(1)	マイスター1			○							
		(2)	マイスター2			○							
		(3)	マイスター3			○							
		(4)	マイスター4			○							
		(5)	マイスター5			○							
		(6)	マイスター6			○							
		(7)	マイスター7			○							
	(8)	マイスター8			○								
	(9)	マイスター9			○								
	(10)	マイスター10			○								
	(11)	マイスター11			○								
	(12)	マイスター12			○								
	(13)	マイスター13			○								
	(14)	マイスター14			○								
	特別に実施する研修	臨時研修	教育総合センター研究発表会		○					○			
課題に対応した研修(1)				○									
課題に対応した研修(2)				○									
課題に対応した研修(3)				○									
課題に対応した研修(4)				○									

10 文科省・県教委等の実施する研修一覧

	研修名・講座名	対象
文部科学省 独立行政法人 教員研修セン ター	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
県立特別支援 教育センター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員及び新任通級指導担当教員
	基礎研修	特別支援学校及び幼・小・中・高等学校教員
	実技研修	小・中学校の特別支援教育担当教員
	課題別研修	特別支援学校及び小・中学校の特別支援教育担当教員
	学校訪問研修	小・中・特別支援学校教員
県立教育研修 所	一般研修講座	全校園種教員
	職務研修講座	
	自由研修	
県教委(阪神 教育事務所) 等主催	学校経営研修講座	平成27(2015)年度採用小・中・特別支援学校校長
	学校管理職・教育行政職特別研修	平成27(2015)年度採用小・中・特別支援学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会(校長)	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会(教頭)	小・中・特別支援学校教頭
	県立学校管理職(校長)研究協議会	高等学校校長
	県立学校管理職(教頭)研究協議会	高等学校教頭
	県立学校新任校長学校経営研修講座	平成27(2015)年度採用高等学校校長
	初任者研修(一部の講座に参加)	幼・小・中・特別支援・高等学校初任者教員
	10年経験者研修(一部の講座に参加)	平成17(2005)年度採用小・中・特別支援・高等学校教員
	養護教諭栄養教諭経験者研修(新規採用10年次)	平成18(2006)年度採用小・中・特の10年目養護教諭栄養教諭
	教職経験者研修(中堅教員)(15年研修)	平成13(2001)年度採用小・中・特別支援学校教員
	5年・15年次高校教員研修講座	平成23(2011)・13(2001)年度採用高等学校教員
	公立学校臨時的任用教員及び任用候補者講習会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員
	長期研修休業制度	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員
	指導力向上研究支援事業	小・中・特別支援・高等学校(県費)教員

1 1 平成26年度 研修報告

研修受講者のアンケートによると9割弱が「現状の研修でよい」との回答を得ている。前年度と比較して5%程度良い方向に改善している。

職務に応じた研修の数値が前年度と比較して1割以上の高い伸びを見せた。これは、ミドルリーダー研修を見直し、各職務に応じた研修に編成し直したところに効果が見られる。

よい結果の中でも、専門研修の「教育課題に対応した研修」では「現状の研修でよい」の回答は維持した結果を示しているものの、数値の低い研修も見られる。

研修連絡協議会での校園長対象のアンケートにおいても、職務に応じた研修等の基本研修では、現状の状態で良いという意見が9割以上を占めている。これは、前年度の反省や要望をふまえて、改善した結果が高評価となってあらわれたものである。一方、専門研修においては、4割程度は変更する方が良いという意見がでている。このことは、指導力向上や教育課題への問題意識が高く、様々な研修を求められている結果だと受け止めている。

1 受講しなければならない研修（基本研修）

（1）職階に応じた研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
校・園長研修		6	26	講話	「1本の電話から」 ～相談に携わる現場から教育の現場に伝えたいこと～	関西いのちの電話 事務局長	八尾 和彦	55
新任校・園長研修	26	4	17	講話	新任校・園長に望むこと	尼崎市教育委員会 教育長	徳田 耕造	12
		8	26	講話	「信頼を築く学校運営のために」 ～ハラスメント対策とストレス管理～	NPO法人 えむ・コミューズ 代表	中田 真理子	14
教頭研修		8	5	講話	「本市の教頭にのぞむこと」 ～地域の中での学校（地域連携）～	尼崎市教育委員会 教育委員	磯田 雅司	70
新任管理職 コンピュータ研修		4	11 15 21	講話 演習	ネットワークを利用した校務処理	教育総合センター 指導主事 指導員	大森 康充 東江 潤	12

（2）職務に応じた研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
主幹教諭研修		11	13	講話	ミドルリーダー、若手の育成について	神戸いのちの電話 事務局長	正岡 茂明	91
教務担当研修		8	8	講話	「風通しの良い」学校づくりのために	京都教育大学 教授	榊原 禎宏	56
研究担当研修	26	8	8	講話	学力向上のためのカリキュラムマネジメントと校内研修の活性化	鳴門教育大学 教授	村川 雅弘	66
		2	9	講話	学力向上のためのカリキュラムマネジメントと校内研修の活性化	鳴門教育大学 教授	村川 雅弘	71
生徒指導担当研修		7	11	講話	いじめ防止対策推進法施行に伴う学校の対応について	兵庫教育大学 教授	新井 肇	64
OJT教員研修		5	15	講話 演習	初任者のメンタルヘルスについて	兵庫県スクールカウンセラー スーパーバイザー	中村 経子	55
拠点校指導教員研修		7	28	講話	初任者研修に係る拠点校指導教員について	教育総合センター 指導主事	鯨原 輝明	23
養護教諭研修		8	26	講話	フィジカルアセスメントについて	兵庫県立塚口病院 看護師	川村 桃子	73
栄養教諭研修		6	9	講話	ヒトは食により人となる	元綾川町立綾上中学校 長	竹下 和夫	41
		6	9	講話	尼崎市の食生活の現状	健康増進課 係長	長谷川 まゆみ	41

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
特別支援教育コーディネーター研修（１）	26	8	18	講話	特別支援教育から考える通常学級の授業づくり・学級経営	兵庫教育大学教授	宇野 宏幸	65
特別支援教育コーディネーター研修（２）		8	19	講話 演習	保育・教育で悩んだとき立ち返りたい発達の視点	神戸大学教授	木下 孝司	18
学力向上担当研修（１）		8	25	講話 演習	全国学力・学習状況調査問題からわかること	京都女子大学教授	井上 一郎	57
学力向上担当研修（２）	27	2	2	講話	「全国学力・学習状況調査 秋田県7年連続トップクラスの秘密」～秋田型授業づくりと秋田型授業研究スタイルを中心に～	秋田大学教授	阿部 昇	66
外国語活動担当教員研修	26	7	28	講話	子どもと創る外国語活動の授業	関西大学初等部教諭	梅本 龍多	47
教育用コンピュータシステム管理担当研修		4	25	講話	教育用コンピュータシステムの管理と運用	教育総合センター指導主事 指導員	大森 康充 東江 潤	67
防災・安全教育研修		8	8	講話 演習	防災・安全教育について	震災・学校支援チーム（EARTH）	西本 英典 田淵 雅樹 三浦 肇記 大西 喜代志	85

（３）教職経験年数に応じた研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の 形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講 者数
1年目教員 必修研修	第1回	26	4	22	講話	尼崎の教育、グループ研修 他	尼崎市教育委員会教育長 教育総合センター 総括係長 研修担当係長 学校教育課指導主事	徳田 耕造 土高 伸也 桑野 光枝 仁科 良久	107
	第2回		5	27	講話	授業づくり	京都教育大学准教授 研修担当係長 研修担当指導主事	寺田 守 桑野 光枝 鍛原 輝明	97
	第3回		6	17	講話 演習	防災教育（救命救急法 地震体験 煙体験 映像学習） 尼崎市の防災対策について	尼崎市防災センター 尼崎市総務局 防災対策課係長	職員 貝賀 浩司	102
			6	24					
	第4回		6	17	講話 演習	校務支援システムを活用した校務処理について 情報モラル・セキュリティについて	教育総合センター 指導主事 指導員	大森 康充 東江 潤	97
			6	24					
	第5回		7	1	講話 授業参観 体験	尼崎養護学校の行事について	尼崎市立尼崎養護学校 校長 教頭	吉田 武史 吉 本 稔	97
			9	30					
			10	28					
	第6回		7	1	講話 演習	生徒指導 教育相談	生徒指導担当指導主事 教育相談担当係長	菅 光徳 細間 亜季	95
			9	30					
			10	28					
	第7回		7	29	講話	あーよかったな あなたがいて ～「優しさ」という温かい貯金～	尼崎市教育委員	仲嶋 正教	95
						学級経営について	元成徳小学校 校長	枝根 富子	
						クラブ活動について	大庄北中学校 校長	中 俊弘	
	第8回		8	5	講話 演習	情報教育（ICT活用、情報モラル）	教育総合センター 指導主事 指導員	大森 康充 東江 潤	95
			8	26					
	第9回		10	21	講話	尼崎の歴史	尼崎市立地域研究史料館	辻川 敦	97
						社会体験フォーラム	教育総合センター 指導主事	柳 伸彦	97
	第10回		11	18	講話 模擬授業	「道徳の時間」の充実に向けて～学校における道徳教育の「要」として～ 「道徳の時間」の指導基本 ～模擬授業とその相互評価をととして～	県立教育研究所 指導主事等	早瀬 幸二 山下 勝幸	95
	第11回	12	2	講話	尼崎市の食育推進について 小学校給食について 中学校の昼食について	健康増進課 学校保健課係長 技師 指導主事	長谷川 まゆみ 川村 真紀 亀谷 麻紀 馬場 直子	97	
	第12回	27	2	3	講話	「初任者先生に伝えたいこと」 ～失敗から学ぶ人生哲学～	（株）栄水化学 代表取締役	松本 久晃	97
					演習	グループ別研修（全体地域研究発表及び初任者研修のまとめ）	教育総合センター 指導主事等		97

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
ステップ・アップ研修 (選択)	(1)	26	5	20	講話 演習	授業づくりの視点について	教育総合センター 研修担当係長	桑野 光枝	43
						授業づくりについて	教育総合センター 指導主事	鉾原 輝明	
						学校実務について	教育総合センター 指導主事	柳 伸彦	
	(2)	26	6	3		学校安全について	学校保健課	齊藤 大地	43
						授業づくりと学級経営について	教育総合センター 研修担当係長	桑野 光枝	
						授業づくりと学級経営について	教育総合センター 指導主事	鉾原 輝明	
	(3)	26	7	22		明日から使える学級活動のヒント	明城小学校 難波の梅小学校	小掠 淳子 橋本 昭子	40
						特別活動の位置づけとできること	学校教育課 指導主事	後藤 聡志	
						「教材研究の仕方」～国語科文章構成図の作り方を学ぶ～	教育総合センター 授業改善アドバイザー	小笹 雅幸	
						授業で子どもを変える ～教科と学活と言語力～	教育総合センター 授業改善アドバイザー	倉橋 忠	
	(4)	26	9	9		キャリア教育について	はなトレーニング 代表	華 多真美	57
						学習評価について	甲南大学 特任教授	古川 治	
	(5)	26	10	7		授業づくりと授業の視点について	教育総合センター 指導主事	柳 伸彦	50
	(6)		11	4		ノート指導・板書について	教育総合センター 指導主事	柳 伸彦	46
	(7)	26	11	11		思考する場づくりについて 児童生徒が輝く授業とは？	教育総合センター 指導主事 授業改善アドバイザー	鉾原 輝明 大龍 雅子	26
(8)	11		25	意欲、関心を継続させる授業づくりについて	元成徳小学校長 教育総合センター 指導主事	枝根 富子 鉾原 輝明	32		
(9)	27	1	20	個に応じた指導の充実について 研究授業の見方 小学校外国語活動について	教育総合センター 指導主事	柳 伸彦	46		
(10)		2	10	子どもの自己実現を促す学級経営	園田学園女子大学 教授	廣岡 正昭	29		
2年目教員研修		26 27	9月～2月		授業 講話	公開授業の実施とマンツーマンの指導を伴う研修	指導主事等		90
		26	9	18	講話 演習	授業力向上研修 (少人数グループ編成等) 「授業づくりについて」 ～ねらって育てる授業～	教育総合センター 研修担当係長 指導員	指導主事等 桑野 光枝 相方 伸二	90
		26 27	9月～2月		授業参観	授業力向上研修 (少人数グループのまとめ等)	指導主事等		90
		27	2	19	講話 演習	グループ研修 「教職生活2年目をふり返って」	教育総合センター 研修担当係長 指導員	指導主事等 相方 伸二	90
		26 27			講話	マンツーマン研修	教育総合センター 指導員・指導主事		92
3年目教員研修		26	9	11	講話 演習	授業力向上研修 (少人数グループ編成等) 「授業づくりについて」 ～ねらって育てる授業～	教育総合センター 研修担当係長 指導主事	指導主事等 桑野 光枝 柳 伸彦	84
		26 27	9月～2月		授業参観	授業力向上研修 (少人数グループのまとめ等)	指導主事等		84
		27	2	12	講話 演習	グループ研修 「3年間の総点検」	教育総合センター 指導主事	指導主事等 柳 伸彦	84
4年目教員研修		通年			講話 授業参観	異校園種交流	各学校園	担当者	68
5年次教員研修（1）		26	7	30	講話 演習	5年次教員に求められるもの	教育総合センター 指導主事 指導員	鉾原 輝明 相方 伸二	89
5年次教員研修（2）		通年				マイスター教員公開授業研修講座より1講座を受講する	マイスター教員		

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
7年目教員研修		26	8	5	講話	中堅教員に望むこと	前武庫東小学校長	川野 吉信	73
10年経験者研修(1)			5	9	講話	ストレスとストレスマネジメント教育について	兵庫県 スクールカウンセラー	西本 由美	36
					講話	尼崎市の教育的課題について	教育総合センター 総括係長	土高 伸也	
					講話	中堅教員としての自覚とその役割について	元園田東小学校長	上玉利 敏昭	
10年経験者研修(2)		通年				任意の11研修を選択			
15年次教員研修		26	7	28	講話	尼崎市の教育の現状と課題について 中堅教員としての資質と役割について	元尼崎北小学校長 元園田東小学校長 教育総合センター 指導主事	眞鍋 憲司 上玉利 敏昭 鯨原 輝明	14
20年目教員研修		通年				個人の自覚を元に任意の研修を2講座選択	各講師		24
常勤の 臨時講師研修	(1)	26	11	19	講話 演習	尼崎の教員として ～接遇から授業づくりまで～	教育総合センター 指導主事	鯨原 輝明	32
	(2)	27	2	6					27
管外転入教員研修		26	7	8	講話	尼崎市総合計画 尼崎の教育について	尼崎市教育次長	中川 一	20
						本市の教育の現状と課題	教育総合センター 総括担当係長	土高 伸也	

2 希望による研修（専門研修）

(1) 教育課題等への対応研修

研修・研修講座名		年	月	日	研修の 形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講 者数
人権教育 研修講座	(1)	26	8	27	講話	虐待を記録する	生活支援相談課係長 家庭児童相談員	春名 孝志 浅井 鈴子	189
	(2)		8	28	講話	人権教育 新たな課題	神戸地方法務局 尼崎市局総務課長	横山 武美	149
	(3)		8	29	講話	いじめを許さない	人権エンターティナー	登天ボール	203
特別支援教育研 修講座	(1)		7	31	講話	「目で視る言葉」 ～わたしの生い立ち～	全国手話研修センター 人材養成課 課長	岩本 重雄	92
	(2)		6	26	講話	「みんなの特別支援教育」～授業のユニ バーサルデザイン化をめざして～	関西国際大学 教授	中尾 繁樹	29
環境教育研修講座			7	23	講話	「環境モデル都市について」～「ECO未来都 市あまがさき」へのチャレンジ～	環境創造課 課長補佐	北川 貴宏	19
					講話	「尼崎市におけるごみの減量とリサイク ル」～子どもごみマイスター制度を中心に～	資源循環課 係長	結城 立子	
食育研修講座			7	23	講話	子どもたちの心と体を健やかに育てる食育	神戸女子短期大学 教授	平野 直美	42
言語力向上研修講座			8	1	講話	生きる力をはぐくむ言語活動の充実をめざ して	関西国際大学 教授	中西 一彦	55
カウンセリング 基礎講座	(1)		7	24	講話	「カウンセリングマインド研修 基礎編」 ～さまざまな事例を通して～	こども心身医療研究所 臨床心理士	藤原 由妃	41
	(2)	7	24	講話	「生徒・保護者ともつとうまくやる」 ～家族療法からのヒント～	龍谷大学	東 豊	60	
生徒指導・ 不登校児童 生徒支援 研修講座	(1)	8	18	講話	「子どもの基礎的人間力養成のための積極 的生徒指導」～育てる（発達促進的・開発 的）教育相談の機能に視点を当てて～	関西学院大学 教授	中村 豊	70	
	(2)	8	1	講話	不登校児童・生徒への支援の在り方と未然 防止について	こども教育支援財団	南川 華奈	95	
学級経営研修講座		8	7	講話	こんなときどう言い返す？～指導の優位性 を保つための切り返しを考える～	京都橘大学 准教授	池田 修	121	
一般教養研修講座		27	2	10	講話	英語落語	落語家	桂 かい枝	119
学校飼育動物研修講座		26	6	20	講話 演習	学校飼育動物の扱い方 最適な飼育環境について	一般社団法人 尼崎市開業獣医師会 学校飼育動物委員会 会長	池上 裕 他	22
プレゼンテー ション 入門研修講座	(1)		8	28	演習	プレゼンテーション入門（１）	教育総合センター 指導員	東江 潤	11
	(2)					プレゼンテーション入門（２）			
情報モラル・セ キュリティ 入門研修講座	(1)		7	29	演習	スマートフォン・SNS等の適切な利用につい て	教育総合センター 指導主事	大森 康充	38
	(2)								

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
小学校ICT活用研修講座		26	7	24	演習	コンピュータ室の機器を活用した授業について	教育総合センター指導主事	大森 康充	7
中学校ICT活用研修講座			8	22			教育総合センター指導員	東江 潤	26
校務支援システム入門研修講座	(1)		8	29	演習	校務支援システムの基本的な操作と活用方法の習得	教育総合センター指導主事指導員	大森 康充 東江 潤	25
	(2)		8	29					
学校事務支援システム活用研修講座		27	2	20 24	演習	学校事務支援システムの活用	正和情報サービス	藤本 利轄	22
CMSを活用した学校ホームページ作成研修講座		26	8	7	演習	コンテンツ・マネジメント・システムによる学校ホームページ作成	教育総合センター指導員	東江 潤	3

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修（授業力向上研修講座）

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
幼児教育研修講座	(1)	26	7	24	講話	関西国際大学で学ぼう ～遊びで育てる力～	関西国際大学 准教授	松岡 宏明	19
	(2)		7	31	講話	幼児教育における自然環境について考える	関西学院大学 聖和幼稚園 園長	出原 大	22
	(3)		7	25	講話 演習	関西国際大学で学ぼう ～音感を楽しむ感性を育てる～	関西国際大学 准教授	島川 香織	27
	(4)		8	1	講話	関西国際大学で学ぼう ～子どもの「こころ」と「動き」～	関西国際大学 准教授	松本 恵美子	25
図書館教育 研修講座			7	28	講話	多読型国語科授業	兵庫教育大学 教授	勝見 健史	51
国語科教育 研修講座	(1)		8	5	講話 演習	国語科授業の単元的展開 ～子どもと共に創る意味を考える～	関西大学初等部 教諭	今宮 信吾	85
	(2)		7	24	講話	「言語活動の充実に向けた授業」 ～考える力を表現する力へ～	宮城教育大学	相澤 秀夫	39
社会科教育 研修講座	(1)		8	5	講話	学校教育に求められる情報リテラシーを培う 社会科授業	兵庫教育大学 教授	關 浩和	13
	(2)		8	25	講話 演習	学ぶ楽しさをつくる	教育総合センター 授業改善アドバイザー	倉橋 忠	23
算数科教育研修講座			7	29	講話	思考力・表現力を鍛える授業創り	関西大学初等部 教諭	尾崎 正彦	48
数学科教育研修講座			5	20	講話	「活動に培う確かなわかり」～算数・数学 的活動を軸とした小中連携～	神戸大学大学院 准教授	岡部 恭幸	33
理科教育研修講座 (1)			7	30	講話 演習	“授業で活かせる”理科教育セミナー 「電気の利用」	キャリアリンク 三菱電機株式会社	代田 貴信 大山 幸二	29
理科教育研修講座 (2)			7	30	講話	ICT活用を通じた理科教育の可能性	教育総合センター 指導員	東江 潤	16
生活科教育研修講座			8	4	講話 演習	幼小連携のための生活科授業づくり ～アプローチ・スタートカリキュラムから“接続期 カリキュラム”へ～	大阪教育大学 准教授	佐久間 敦史	43
音楽科教育研修講座			7	31	講話 演習	指揮法と歌唱について	和歌山大学教育学部 講師	本山 秀毅	70
図工・美術科教育 研修講座			8	6	講話	新学習指導要領にのっとった造形教育をめ ざして	文部科学省 調査官	岡田 京子	59
体育科教育 研修講座	(1)		7	22	講話 演習	組み立て体操指導で気をつけておきたいこ と	塚口中学校	村上 修	61
	(2)	8	7	講話 演習	体育指導（柔道）で気をつけておきたいこ と	尼崎稲園高等学校	藤原 正徳	11	
	(3)	8	4	講話 演習	「楽しくなるダンス指導」 ～安全に配慮した指導を通して～	武庫川女子大学 教授	北島 見江	16	
技術科教育研修講座		7	28	講話 演習	「風車に込めたものづくりへの思い」 「金属加工によるブックエンド製作」	産業技術短期大学 講師	福田 若行 久保田 憲司	8	
家庭科教育研修講座		8	28	講話	「消費生活と食」 ～フードマイレージを学ぶ～	あおぞら財団 研究員	林 美帆	14	
英語科教育研修講座		27	2	23	講話 演習	依存的学習者を育てる授業VS. 自律的学習者 を育てる授業	関西外国語大学 教授	中嶋 洋一	29

研修・研修講座名		年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
小学校外国語活動指導力UP研修講座	(1)	26	7	24	講話	「関西国際大学でクラスルームイングリッシュを学ぼう」～基礎編～	関西国際大学准教授	片山 真理	11
	(2)		7	25	講話	「関西国際大学でクラスルームイングリッシュを学ぼう」～標準編～			12
	(3)		8	25	講話	「関西国際大学でクラスルームイングリッシュを学ぼう」～応用編～			11
道徳教育研修講座	(1)		10	16	公開授業研究協議	「道徳の授業をするために」～先生の引き出しを増やそう～	前園田南小学校長	香嶋 裕子	14
	(2)		9	24	公開授業研究協議	道徳的実践力の向上を目指す道徳教育の推進	兵庫教育大学非常勤講師	行本 美千子	22
ライフスキル教育研修講座			8	25 26	講話演習	ライフスキル教育の基本的な理論と実践	ライオンズクラブ国際協会	専任講師	15
総合的学習研修講座			8	1	講話演習	シンキングツールを活用した考える力を育成する授業設計	関西大学初等部教諭	三宅 貴久子	38
特別活動研修講座			8	6	講話	特別活動について	シチズンシップ共育企画代表 学校教育課指導主事	川中 大輔 民谷 洋二	31
マイスターによる公開授業研修講座	(1)		6	26	講話参観	図工科「そっくりさん！びっくり変身みてみて私の工夫」	大島小学校	大津 雅子	26
	(2)		7	3		理科「植物の体としくみ」	七松小学校	中田 眞一	20
	(3)	7	10	国語科「詩を読もう」		園田小学校	佐藤 隆史	25	
	(4)	7	29	理科「キッズサイエンス夏休み理科実験」		武庫庄小学校	山下 由記子	29	
	(5)	9	19	国語科「絶滅の意味・要約図をつくろう」		大庄中学校	富田 弘文	15	
	(6)	9	24	理科「身のまわりの物質」		園田中学校	松島 修	16	
	(7)	11	12	数学科「相似な図形」		常陽中学校	大久保 陽造	15	
	(8)	11	20	社会科「工業生産を支える人々」		園和北小学校	青木 一朗	29	
	(9)	11	27	国語科「作品の世界を深く味わおう」		武庫東小学校	東田 明子	28	
	(10)	12	9	算数科「くらべ方を考えよう」		武庫南小学校	中野 譲	52	
教育研究発表会		27	2	10	講話指導助言	基礎学力向上部会 教育の情報化部会 育相談研究部会 活用力向上部会Ⅰ 活用力向上部会Ⅱ ユニバーサルデザイン授業	教 立花西小学校長 奈良教育大学教授 広島大学総合センター長 成良中学校長 兵庫教育大学教授	米田 浩 伊藤 剛和 栗原 慎二 平山 直樹 勝見 健史 百瀬 和夫	119

3 特別に実施する研修

研修・研修講座名	年	月	日	研修の形態	テーマ	講師の所属・役職	講師の氏名	受講者数
理科教育研修講座 （３）	26	8	27	講話	授業に役立つ教具づくり ～電気に関わるものづくり～	園田中学校 マイスター教員	松島 修	35
食物アレルギー 対応研修		8	8		学校におけるアレルギー疾患に関する対応 について	神戸市立医療センター 中央市民病院 医長	岡藤 邦夫	54
PC室活用研修講座		12	24	講話 演習	P C 室の活用と適切な利用について	教育総合センター 指導員	東江 潤	9
授業力向上研修	27	3	4	講話 演習	思考力・表現力を鍛える授業づくり	関西大学初等部 教諭	今宮 信吾	12
		3	12	講話 演習	アクティブラーニング型 算数授業づくり道場へようこそ	関西大学初等部 教諭	尾崎 正彦	20

1 2 教育相談担当の事業報告等

平成27年度より、生徒指導・特別支援担当と教育総合センターの業務を再編し、教育・障害福祉センターの施設内に教育相談・特別支援担当が設置され、教育相談担当が移管される。

＜教育相談事業＞

教育上の課題を持つ子ども、悩みを持つ保護者や学校・園からの相談に応じ、子どもの心身の望ましい発達を育むための支援を行う。

- 1 カウンセリングや心理テスト、各種の心理療法を取り入れ、的確な助言により問題解決を図る
- 2 教育相談の方法として、面接相談、電話相談、出張相談を行う
- 3 スーパーバイザーによる相談員への指導助言を行う
- 4 専門相談員（臨床心理士等）による個別相談を行う

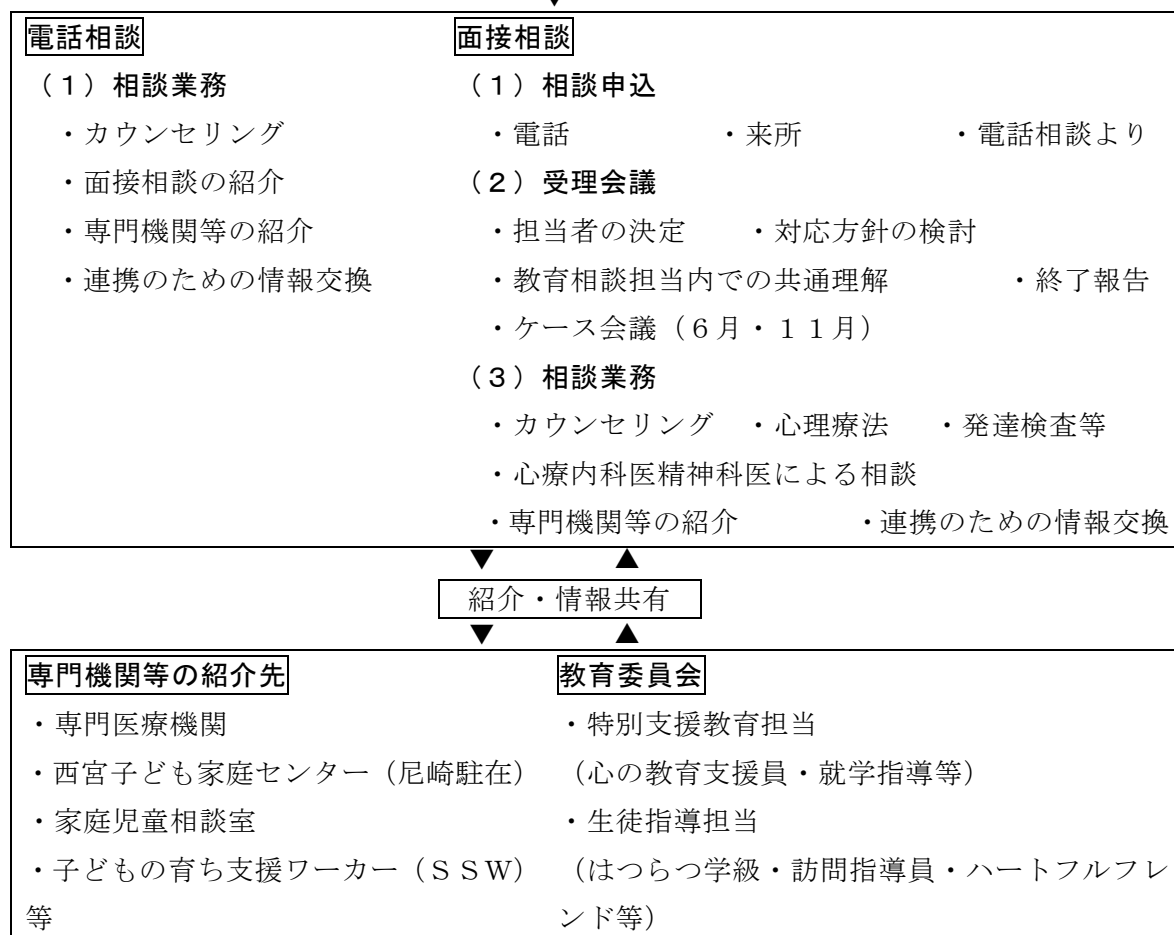
＜高等学校カウンセラー派遣事業＞

市立高等学校にカウンセラー等を派遣し、教職員のカウンセリング技能の向上を図るとともに、心の悩みを持つ生徒及びその保護者の面接相談を実施する。

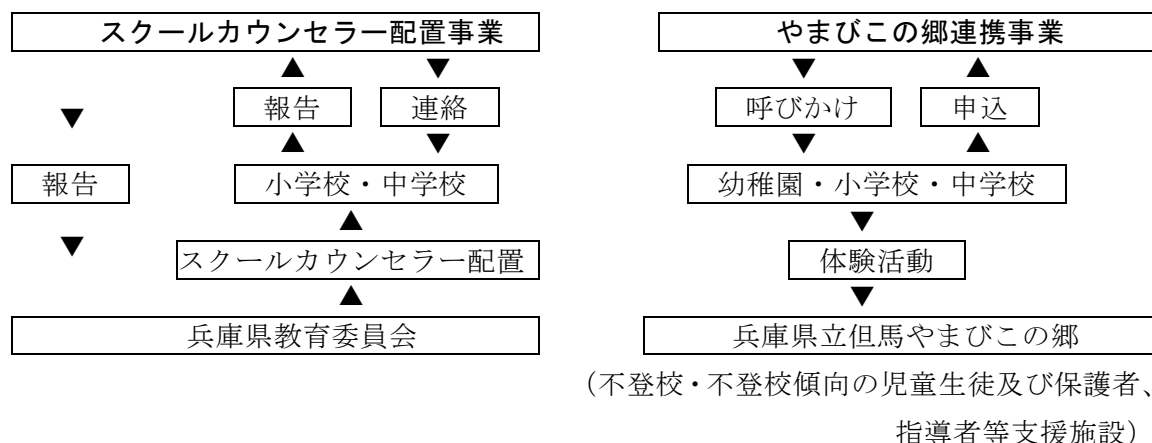
報告等

1 教育相談業務

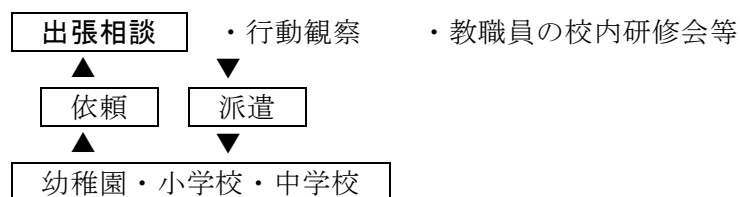
対象 4歳から18歳までの子ども及び関係のある保護者・教職員・市民



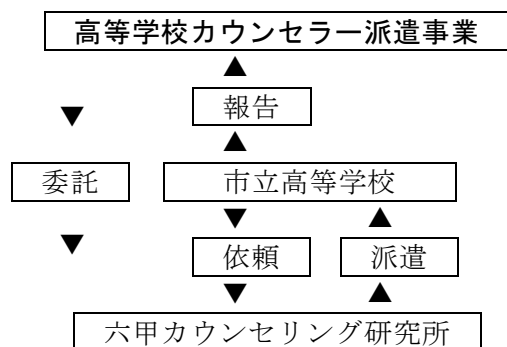
2 連携事業等



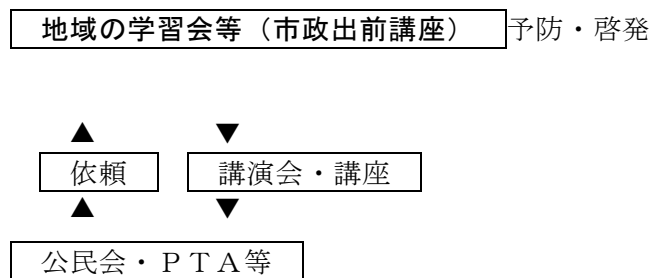
3 研修



4 派遣事業



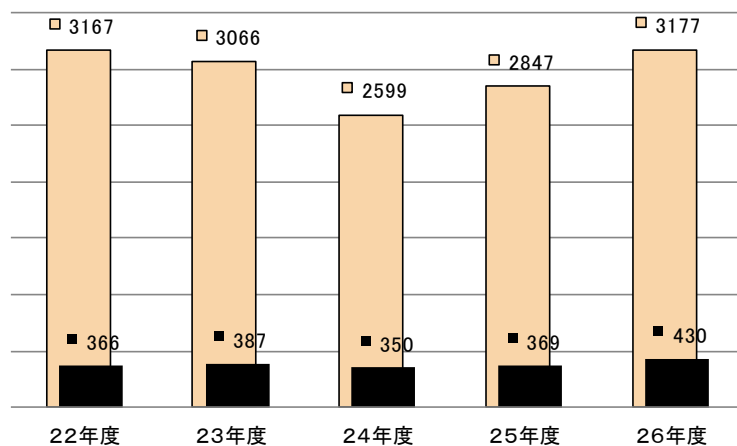
5 講座等



5 平成26年度 相談事業報告

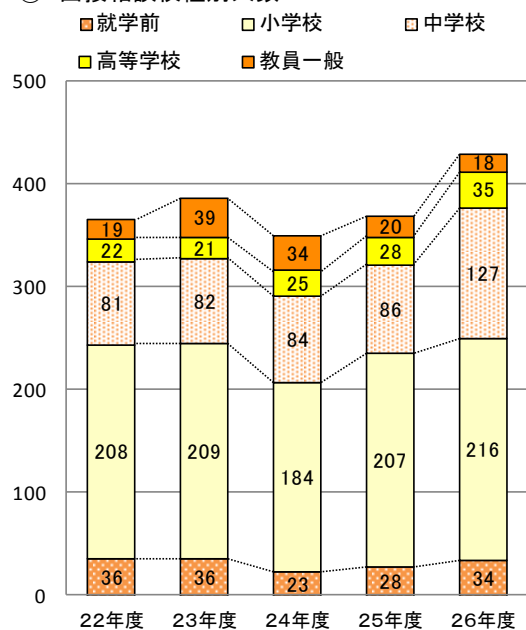
(1) 面接相談

① 面接相談件数 □ 述べ面接件数 ■ 申し込み件数

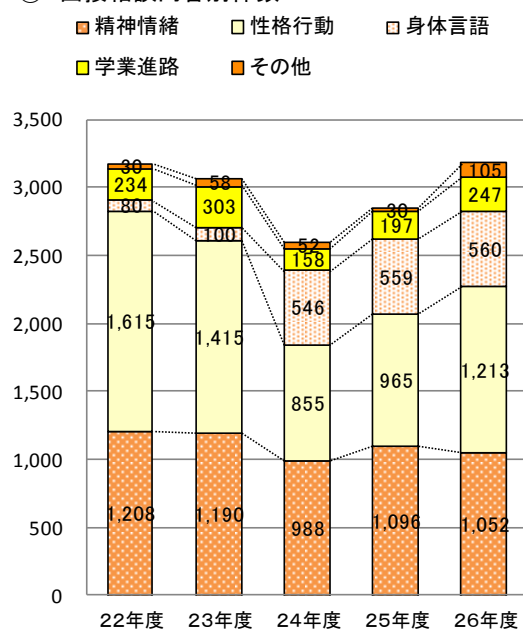


(平成26年4月から27年3月23日現在)

② 面接相談校種別人数



③ 面接相談内容別件数



※ 中学校の不登校生徒が増加傾向にあり、中学生やその保護者の相談回数が増加している。不登校の相談は、継続するケースが多いため相談回数も多くなる。

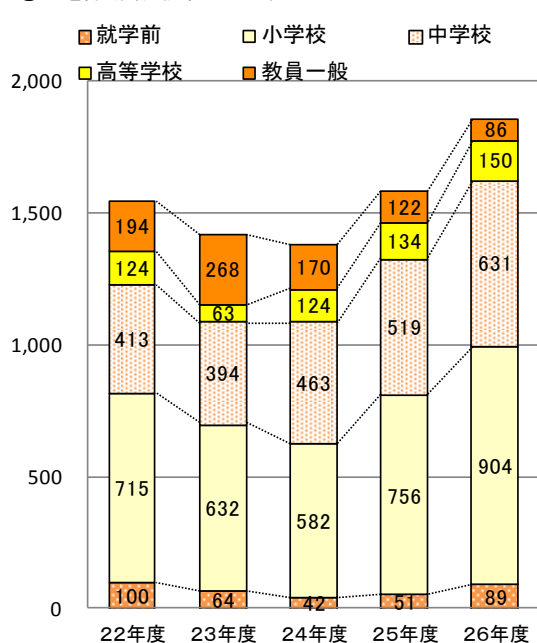
※ 発達に課題を抱える児童生徒等の困り感に寄り添った指導や環境づくり等についての相談も増えている。

※ 平成23年度以前は、発達障害は「性格行動」に含まれていたが、平成24年度から「身体言語」に含まれたため、「身体言語」の数が増えている。

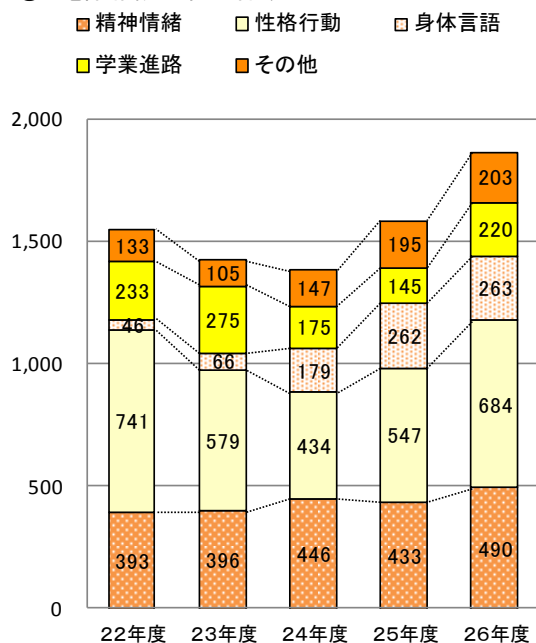
※ 発達障害は、医師の診断により診断名がついたものを「身体言語」に分類しているが、発達に課題があると疑いがあるものに関しては「性格行動」に分類している。

(2) 電話相談

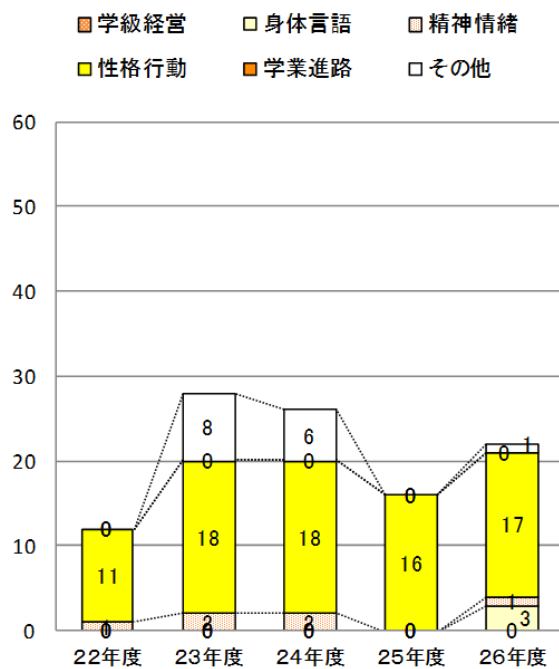
① 電話相談校種別人数



② 電話相談内容別件数



(3) 教員の相談状況



※ キレル児童生徒や多動傾向、ADHD 等の対応、学習困難な児童への支援、学級経営の困難さ等に伴う教員の相談内容も多様化している。

※ 発達に課題を抱える児童生徒等の困り感に寄り添った指導や、環境づくり等についての相談も増えている。

13 平成26年度 教育研究部会の概要報告

1 基礎学力向上研究部会

「ぐんぐんのびる個別ドリルシステムの活用および 学校と家庭における効果的な学習方法について」

専任講師	米 田	浩	(立花西小学校長)
指導主事	西 田	一 義	
研 究 員	守 屋	貴 哉	(浜 田 小)
〃	入 江	伸 弥	(立花西小)
〃	安 部	美 佳	(園 田 小)
〃	辻	武 史	(小 園 小)

【内容の要約】

尼崎市の児童生徒の学力向上について考えるとき、「読み、書き、計算」に代表される基礎学力の定着は必須のものである。活用する能力の育成がとりざたされている中、基礎学力はそれを支える土台となる力として不可欠な部分である。さらに土台となる力をつけるためには、学校・家庭の効果的な学習のあり方が大きく左右することは、文部科学省の調査でも明らかとなっている。

「読み、書き、計算」などの基礎学力を定着させるための手立てとして尼崎市では、平成19年度より「ぐんぐんのびる個別ドリルシステム」の運用を開始した。これは、漢字と計算について、個々の学習状況に応じた習熟を可能にしたシステムである。まさに基礎学力を定着させる目的に有効な手段として考えられたソフトである。

『ぐんぐんのびる個別ドリルシステム』においては、過去の本センターの研究や昨年度の研究からも、基礎学力の向上における学習効果については、一部明らかにされている。

本年度は、その『ぐんぐんのびる個別ドリルシステム』の活用の仕方について改めて考えるとともに、基礎学力向上に資する家庭学習の方法について考察をした。

2 教育の情報化研究部会

校務の情報化推進についての研究 －校務の情報化に関する研修モデルの開発と検証－

専任講師	伊 藤	剛 和	(奈良教育大学教授)
指導主事	大 森	康 充	
指 導 員	東 江	潤	
研 究 員	有 馬	陽 一	(水 堂 小)
〃	藤 田	和 久	(清 和 小)
〃	岩 本	紗 知	(園田東中)
〃	大 橋	直	(中 央 中)

【内容の要約】

一昨年度より、小・中・特別支援学校において統一された校務支援システムが導入されたことで、本市の「校務の情報化」には、一定の進捗が見られるようになった。一方で、以前より使用してきた学校独自のシステム以外使用したことのない教員や、そもそも校務をコンピュータで処理したことのない教員が、「校務の情報化」になかなか取り組めずにいるという側面も浮き彫りになってきている。

そこで、主に各校の情報教育担当者がリーダーとなって取り組める、校務の情報化に関する研修モデルを開発し、実践検証していくことで校務の情報化の推進を目指すこととした。

3 教育相談研究部会

「学校適応感を取り入れた指導のあり方」 — アセスを用いた見立てによる的確な支援を目指して —

専任講師	栗原 慎二	(広島大学大学院総合センター長)
指導主事	太田 和樹	
研究員	桐山 勉	(大庄北中)
〃	西前 孝嗣	(大庄北中)
〃	水本 美穂	(大島小)

【内容の要約】

児童生徒の学校環境適応感を、アンケートで得たデータから統計的な手法によって数値で求める。そして、この客観的な数値を基にして学級のようなすや子どもの心理をグラフで表すことにより、ベテランだけでなく経験の少ない教師も的確な見立てが可能となる。

このような統計学を用いた学級経営のマネジメント方法を取り入れることで、従来の教育現場に見られる経験や勘を中心とした手立てから客観的な視点を加えた手立てへの転換を図り、よりの確な支援を目指したい。そのために、今回の教育相談研究では、学校環境適応感を測定するツール「アセス」を用いた教育活動についての実践をまとめた。

4 活用力向上部会Ⅰ

「言語活動の充実」 ～考える力を表現する力へ～

専任講師	平山 直樹	(成良中学校長)
指導主事	楢原 輝明	
研究員	富田 弘文	(大庄中)
〃	高山 美畝	(園田東中)
〃	高井 大輔	(啓明中)
〃	吉永 智加	(武庫東中)

【内容の要約】

言語活動の充実に向けて、全国の各学校において、教壇に立つ教員が練った指導案に基づき、学習指導要領において明示された目標を達成すべく、日々の授業実践が展開される今日、尼崎市の生徒に向け、国語の授業を通した言語活動の推進を念頭に、その指導方法について立案、協議し、実践研究を行った。

言語活動の推進という目標を掲げ、「学習意欲の向上」のために、「書く」作業を課し、「書く」ために必要な「思考力」の向上を狙うこととする。
頭で考え、文字にまとめることができるようになると、その表現として、お互いの意見、考えを交流すること、つまり、「表現」を通した「表現力」の向上へ結実する。

研究の成果指標として提示できるよう、生徒の実態を調査するためのアンケートと、小テストを実践前と実践後において比較ができるように実施した。

言うまでもなく、言語活動の充実そのものを最終目標とするものではなく、言語活動の充実の結果に獲得すべき学力の定着をめざすものである。

5 活用力向上部会Ⅱ

思考と表現の一体化に向けた評価指標に関する研究 - 全国学力・学習状況調査結果を基にした指導方法の工夫 -

専任講師	勝 見 健 史	(兵庫教育大学教授)
指導主事	柳 伸 彦	
研 究 員	浅 野 尚 子	(武庫庄小)
〃	打 越 香 代	(園田南小)
〃	瀧 本 晋 作	(園田北小)
	中 西 麻 莉	(水 堂 小)

【内容の要約】

学習指導要領のめざすべき方向のひとつとして「習得した知識や技能を活用する力」を養うことが求められ、「言語活動の充実」が重要視されている。それは、いかに「思考・判断」の場面や機会を保障するかが問われているものでもある。このことは、全国学力・学習状況調査のB問題（主として「活用」に関する問題）にも内包されており、「学校で学習した知識・技能等が、児童生徒を取り巻く様々な生活場面において、活用できるか」を視野に入れた問題からもうかがわれる。つまり、「思考・判断したことが表現に結びつく」授業の改善が児童の活用力向上につながるといえる。

そこで、子どもの活用力を向上させるために、1年次の本年度は「どのように単元を構成すれば活用力がつくのか（単元のデザイン）、どうすれば思考したことを表現にむすびつけられるのか（評価指標）」を中心課題とし、国語科・算数科・理科の3教科の授業実践を通して研究を進めた。

その結果、評価指標を用いることで、教師の指導計画や指導内容が明確になり、子どもの思考と表現の一体化（思考したことが表現に結びつくこと）を図りやすくなることが確認された。

6 大学研究との連携 授業のユニバーサルデザイン化研究部会

『発達特性に応じた保育・授業のユニバーサルデザイン化の構築』

すべてのステージで役立つ子ども理解と保育・授業力向上プラン

専任講師 百 瀬 和 夫（関西国際大学准教授）

指導員 相 方 伸 二

研究員	上 田 晶 子	（長洲幼）	研究員	渡 邊 由 香	（立花小）
〃	下 原 貴 恵	（大島幼）	〃	福 田 美 香	（園田南小）
〃	山 本 由 紀	（立花幼）	〃	田 邊 奈緒美	（中央中）
〃	小 杉 宏 美	（清和小）	〃	山 大 玲	（尼崎高）
〃	東 田 直 久	（浜小）			

【内容の要約】

幼稚園・小学校・中学校・高等学校それぞれのステージにおいて、教室とともに学ぶ子どもたちの中には、特別な教育的支援を必要としている幼児・児童・生徒がいる。発達障害の可能性のある子どもの有無にかかわらず、教師が学級のすべての幼児・児童・生徒の実態を把握し、理解しようとする努力を続けることが大切となる。その際に、教師が「子どもたちをみる観点や手立て」を数多くもつことで、より理解を深めることにつながる。

本研究では、特別支援教育の視点を導入することで、教師の「子ども理解」，「指導理解」に対する意識の変容を図るとともに、すべての子どもたちが「安心して過ごせる学級集団をどうつくっていくのか」，「わかる，できる保育・授業をどうつくり，どのように展開していくのか」，「学習に取り組みやすい教室環境をどうつくっていくのか」といったさまざまな教育活動における「ユニバーサルデザイン化」を目指し，研究・実践に取り組む。

14 児童生徒文化充実支援事業の実施報告

児童生徒の個性の伸長、学習への興味・関心・意欲の向上を図るため、児童生徒の研究、調査、発表などの文化的活動を奨励支援する行事を開催いたしました。



- 1 中学校・高等学校合同音楽発表会
(平成 26 年 10 月 30 日 あましんアルカイックホール)
小学校音楽発表会 (平成 26 年 11 月 13・14 日 あましんアルカイックホール)
- 2 幼児画展・図工展・美術展
(平成 27 年 1 月 28 日～2 月 1 日 総合文化センター美術ホール)
- 3 演劇発表会 (平成 27 年 1 月 25 日 ピッコロシアター)
- 4 書道展 (平成 27 年 1 月 21 日～1 月 25 日 総合文化センター美術ホール)
- 5 なかよし作品展 (平成 27 年 1 月 28～2 月 1 日 総合文化センター美術ホール)
- 6 英語祭 (平成 26 年 10 月 31 日 教育総合センター)
- 7 特別支援学級卒業生を送る会 (平成 27 年 2 月 21 日 教育総合センター)
- 8 スピーチフェスティバル (平成 27 年 2 月 5 日 教育総合センター)
- 9 放送、映画感想文コンクール表彰式 (平成 27 年 2 月 14 日 中央公民館)
- 10 読書感想文発表会 (平成 26 年 11 月 6 日、平成 26 年 11 月 28 日 教育総合センター)
- 11 中学校理科作品展及び研究発表会 (平成 26 年 10 月 11 日～14 日 青少年センター)
尼崎市児童理科研究発表会 (平成 26 年 10 月 16 日 教育総合センター)
創意工夫展 (平成 26 年 9 月 12～16 日 青少年センター)
- 12 社会科作品発表会 (平成 26 年 9 月 26 日～10 月 2 日 青少年センター)
- 13 技術・家庭作品発表会 (平成 27 年 2 月 14～15 日 青少年センター)

15 平成26年度 視聴覚センター事業報告

(1) 研修事業報告

16ミリ映写機操作技術講習会 (参加人数 8人)

月	日	テーマ
7	30	演習「16ミリ映写機の操作法」
10	22	演習「16ミリ映写機の操作法」

(2) 視聴覚ライブラリー利用状況

① 受付件数

学校関係	1	学校関係:公私立の幼稚園・小・中・高等学校・大学等
公共団体	9	公共団体:学校以外の公共機関・児童館・児童ホーム・保育所等
民間団体	7	民間団体:各学校PTA・子ども会・自治会・地域団体・老人会等
個人	2	個人:個人登録者
計	19	

② 利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼児	0	0	0	250	691	15	0	0	0	0	0	0	956
小学生	0	0	245	925	302	0	0	0	0	0	0	20	1,492
中学生	0	0	0	0	10	0	0	6	120	0	0	0	136
高校生	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10
一般	16	139	49	38	616	98	8	52	12	0	0	43	1,253
計	16	139	294	1,213	1,629	113	8	58	132	0	0	63	3,847

③ 教材・教具別貸出状況

(台)／(巻)

16ミリ映写機	スライド映写機	液晶プロジェクター	DVDプレーヤー	OHP	スクリーン	暗幕	合計
9	0	1	0	0	4	0	14

16ミリフィルム	ビデオテープ	スライドフィルム	TP	CD教材	DVD教材		合計
28	5	0	0	0	4		37

1 6 平成 2 6 年度 教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日 9:00～21:00（但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	小学校 昭和 40 年以降の教科書 中学校 昭和 37 年以降の教科書 高等学校 昭和 54 年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書
2 法定展示	開館時間	平成 26 年 6 月 13 日 ～ 平成 26 年 7 月 2 日 （但し、土曜日、日曜日は閉館）
	展示教科書	平成 27 年度～平成 30 年度使用小学校用教科書 平成 24 年度～平成 27 年度使用中学校用教科書 平成 27 年度使用高等学校用教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく教科書

1 7 平成 2 6 年度 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集（保有数）	
・ 教育関係図書	13689 冊
・ 教育関係資料（研究紀要・報告書）	7805 冊
・ 雑誌収集	12 タイトル
2 教育広報活動	
・ 「教育総合センターだより」	No. 132 ～ No. 135 （平成 26 年 5 月、9 月、12 月、平成 27 年 3 月の年 4 回発行）
・ 「教育あまがさき」	第 74 号 ～ 第 75 号 （平成 26 年 10 月、平成 27 年 3 月の年 2 回発行）
3 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 52 号

(様式3)

第 号
平成 年 月 日

教育総合センター所長 あて

校・園 名

校・園長名

印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

1 研修・研修講座名 _____

2 研修実施日 平成 年 月 日 ()

3 対象者名 _____

4 欠席理由 (校務の場合、本人でなければならない理由を記入する)

以 上

(様式4)

平成 第 年 月 日 号

兵庫県教育委員会
阪神教育事務所長 様

校 名
校長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届け出ます。

1 研 修 名 _____

2 研 修 実 施 日 平成 年 月 日 ()

3 欠席者の職名・氏名

職名 _____

氏名 _____

4 欠 席 理 由 (校務の場合、本人でなければならない理由を記入する)

以 上

(様式5)

平成 年 月 日

県立教育研修所長 様

学校名.....

校長名.....

職

印

欠 席 届

平成27年度現職教育研修講座を下記により欠席しますので届け出ます。

記

講座番号			
講座名			
欠席期日		平成 年 月 日 () ~ 平成 年 月 日 ()	
期 間		() 日間	
欠席者	職 名		
	氏 名		
欠 席 理 由		区分	公務のため ・ 私用のため ・ その他
		(理由を記入してください)	

欠席届は、県立教育研修所長あて直送してください。